

2009年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2009

目 次	
沿 革	2
美術館の事業紹介	3
2009(平成 21)年度事業一覧	5
展示事業	
企画展	
五味太郎作品展「絵本の時間」	7
中村征夫写真展「命めぐる海」	8
neoteny japan 展 ―高橋コレクション―	12
奈良裕功・素描展 時有幽花	16
Touch it ! 手でみる彫刻展	20
コレクション展	22
教育普及事業	
美術館教室・ワークショップ	28
ミュージアム・コンサート	31
美術館講座・美術講演会	32
ボランティア活動	35
博物館実習	36
ハイビジョンソフト制作	37
出前美術館	38
ネットワーク推進事業	38
セカンドスクールの利用	39
収集事業	
美術品収集	41
図書資料	42
調査・研究業績	43
美術品貸し出し	44
刊行物	45
入館状況	46
組 織	47
建築・設備概要	48
関係法規	49
館内図	51
利用・交通案内	53

沿 革

1988(昭和 63)年	11 月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成 1)年	5 月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12 月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6 月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6 月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6 月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4 月 20 日	開館
1997(平成 9)年	10 月 2 日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成 11)年	4 月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成 13)年	1 月	展示室以外の館内無料化
	9 月 26 日	入館者数 1,000,000 人を達成
2007(平成 19)年	10 月	入館者数 1,500,000 人を達成
2009(平成 21)年	4 月	特別展観覧料学生以下無料

美術館の事業

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4～6回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

Special Exhibition

Under a unique theme, displays of native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ① 秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ② 近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③ 日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④ 当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early western style paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

◆調査研究

本館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection.
- ② Modern and fine art from Akita Prefecture.
- ③ Topics relating to the creation,exhibition and preservation of art,as well as the contribution of fine art to education.
- ④ Other research.

◆広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita,we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group(AMC),we hold various lectures,seminars and workshops.

2009(平成21)年度事業一覧

月／事業		企 画 展	コレクション展	講演会・コンサート・移動展ほか
2009				
4		2月7日(土)-4月19日(日) 福田豊四郎のデッサンカ	1月23日(金)-4月5日(日) ピックアップアーティスト 「伊藤彌太」	
5		4月25日(土)-6月28日(日) 五味太郎作品展「絵本の時間」	4月8日(水)-7月12日(日) ピックアップアーティスト 「佐々木裕久」	
6				
7		7月4日(土)-9月6日(日) 中村征夫写真展「命めぐる海」		7/4 (土) 「中村征夫写真展」ギャラリートーク 講師：中村征夫氏(写真家)
8			7月15日(水)-10月12日(月) ピックアップアーティスト 「梅津祐司」	8/2 (日) 美術館に響くマンドリンの音色 出演：横手マンドリンクラブ
9				9/18(金) neoteny japan展 内覧会 出展作家ギャラリートーク 9/19(土) neoteny japan展 鴻池朋子氏(作家)アーティスト トーク
10		9月19日(土)-11月29日(日) neoteny japanー高橋コレクション 日本新世代のトップアーティスト たち		9/28 (月)ー10/2 (金) 出前美術館 能代市立第五小学校、能代市立常盤小学校、 能代市立常盤中学校
11			10月15日(木)-1月11日(月) ピックアップアーティスト 「伊藤博次」	10/18(日) neoteny japan展 高橋龍太郎氏 (コレクター) ギャラリートーク 10/31(土) 秋のミュージアムコンサート トレコンアモーレ 出演：小野崎彰子氏、和泉かく子氏、荻田ヒサ子氏
12		12月5日(土)-2月15日(月) 奈良裕功・素描展 時育幽花		11/3(火) neoteny japan展 山口晃氏(作家)アーティスト トーク
		12/29(火)～31(木)	年末休館	
2010				
1		同上	同上	
		1/12 (火) ～21 (木)	メンテナンス休館	
2		同上	1月22日(金)-4月4日(日) ピックアップアーティスト 「松井如流」	2/20(土) 冬のミュージアムコンサート 美術館に響く南米の リズム 出演：秋田大学南米民族音楽サークル“La-mia”
3		2月20日(土)-4月18日(日) Touch it! 手でみる彫刻展		

『平安後期の美術』 講師：河野元昭 (秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授)		2009
		4
	5/2(土)、5/3(日) ワークショップⅠ おやこDEイラストレーター	5
	5/24(日) 1 阿弥陀三尊像(平等院鳳凰堂)と九体阿弥陀如来像 (浄瑠璃寺)	6
	6/21(日) 2 山水屏風(京都国立博物館)	7
	7/26(日) 3 応徳涅槃図(金剛峰寺)と釈迦金棺出現図 (京都国立博物館)	8
		9
	9/27(日) 4 孔雀明王像(東京国立博物館)と普賢菩薩像 (東京国立博物館)	10
	10/25(日) 5 源氏物語絵巻(徳川美術館・五島美術館)	11
	11/29(日) 6 信貴山縁起絵巻(朝護孫子寺)と伴大納言絵詞 (出光美術館)	12
		2007
		1
1/24(日) 7 餓鬼草紙(東京国立博物館)と鳥獣戯画(高山寺)		2
	2/7(日) ワークショップⅢ デッサン教室Ⅱ 静物編	3

展示事業 企画展

i 五味太郎作品展「絵本の時間」

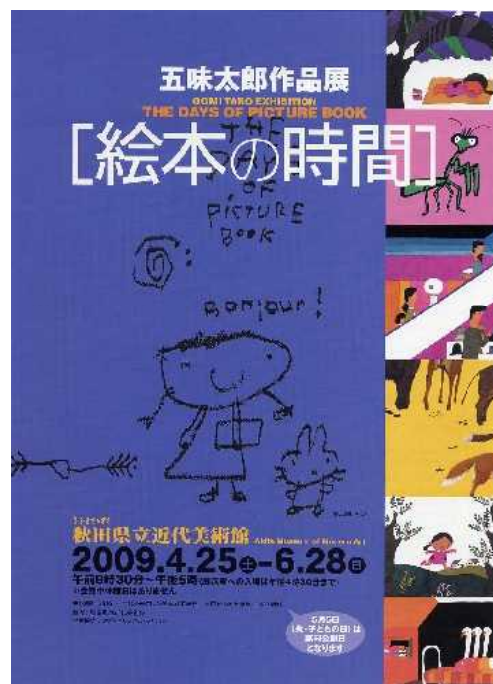
会 期：2009(平成 21)年 4 月 25 日(土)～ 6 月 28 日(日)

主 催：秋田県立近代美術館

企画協力：メディアリンクス・ジャパン

担 当：樫尾康子、山本丈志

絵本作家五味太郎の絵本原画展。五味太郎は、現在までおよそ 350 冊の著作を出版し、絵本の他にも文具や服飾のデザイン、幼児教育のアニメビデオ制作、エッセイの出版など多方面で活躍している。今回は、代表的な絵本（1977～2007 年までの 10 作品）から原画 175 点と、制作の様子を映した VTRなどを展示・紹介した。関連事業として、ワークショップ「おやこ DE イラストレーター」を開催した。



第 1 展示室

No	作品名	原書出版年	手法・画材	寸法cm (縦×横)
1～14	ねえおはなししてよ	1986(昭和 61)	紙・カラーインク	37.0 × 55.0
15～31	ももたろう	2007(平成 19)	ジクレーによる複製	40.0 × 55.0
32～45	みんなうんち	1981(昭和 56)	紙・水彩	37.0 × 52.0

第 2 展示室

No	作品名	原書出版年	手法・画材	寸法cm (縦×横)
46～63	がいこつさん	1982(昭和 57)	紙・カラーインク	38.0 × 56.0
64～83	まどからおくりもの	1983(昭和 58)	紙・カラーインク	34.0 × 55.0
84～99	あそぼうよ	2001(平成 13)	紙・カラーインク	40.0 × 55.0

第 3 展示室

No	作品名	原書出版年	手法・画材	寸法cm (縦×横)
100～117	ぼぼぼぼぼ	1989(平成元)	紙・カラーインク	40.0 × 55.0
118～135	かかかかか	1986(昭和 61)	紙・グアッシュ	40.0 × 55.0
136～157	ことわざ絵本	1986(昭和 61)	紙・インク	27.0 × 40.0

第 4 展示室

No	作品名	原書出版年	手法・画材	寸法cm (縦×横)
158～175	みんながおしえてくれました	1983(昭和 58)	紙・カラーインク	33.0 × 53.0

◆関連記事

秋田魁新報	4/28、4/30、5/25、6/11
読売新聞	4/28
rakra	5・6 月号
あきたタウン情報	5 月号、6 月号
新美術新聞	4/1、5/1、6/1
美術の窓	6 月号

ii 中村征夫写真展「命めぐる海」

会期：2009(平成21)年7月4日(土)～9月6日(日)

主催：秋田県立近代美術館

協賛：Panasonic

後援：NHK秋田放送局、ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、
AAB秋田朝日放送、秋田魁新報社、朝日新聞社秋田総局、
毎日新聞社秋田支局、読売新聞社秋田支局、

企画協力：クレヴィス

担当：三浦 直

世界78カ国の海に潜り、海の魅力をさまざまなメディアを通じて報道してきた水中写真の第一人者中村征夫。なかでも、海の生きものたちのユニークな「顔」を正面からクローズアップでとらえた一連の写真は、大きな話題を呼んだ。

この展覧会では、「海中顔面博覧会」60点のほか、直径わずか34mのミクロネシアの小島「ジープ島」45点、都会の海でたくましく生きる生物へ、ライフワークとしてレンズを向けてきた「東京湾」46点、世界でいちばん美しい海に息づくカラフルな生きものたちをとらえた「紅海」35点、そして40年にわたる写真家活動から選んだ「命めぐる海」42点の4部で構成。代表作から、この展覧会のために撮り下ろした作品まで228点の写真作品のほか、中村征夫が撮影したハイビジョン動画も紹介した。



◆第1展示室 紅 海

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
1	神々しい風景	600 × 900	紅海、エジプト	1988
2	スフィンクスとピラミッド	480 × 700	紅海、エジプト	2005
3	レリーフに感動	600 × 900	紅海、エジプト	2004
4	まばゆいばかりの海	900 × 600	紅海、エジプト	2005
5	ブルースポットティングスティングレイ	1200 × 1800	紅海、エジプト	2007
6	ハナダイギンポ	900 × 600	紅海、エジプト	1987
7	レッドシーバナーフィッシュ	900 × 600	紅海、エジプト	2007
8	メガネモチノウオ	900 × 600	紅海、エジプト	1980
9	ドクウツボ	900 × 600	紅海、エジプト	2007
10	トゲトサカ咲く海	480 × 700	紅海、エジプト	2007
11	クダゴンベのペア	480 × 700	紅海、エジプト	2007
12	ツーバデッドアネモネフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	2007
13	ストライプドアンティアス	360 × 540	紅海、エジプト	2005
14	ゴールデンバタフライフィッシュ	600 × 900	紅海、エジプト	2007
15	レッドバックバタフライフィッシュ	600 × 900	紅海、エジプト	2007
16	サンゴとキンメドモキ	600 × 900	紅海、エジプト	2007
17	ミズクラゲ漂う	600 × 900	紅海、エジプト	2006
18	オレンジフェイスバタフライフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	2007
19	イエローテイルサージョンフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	2007
20	サラダコーラル	600 × 900	紅海、エジプト	2005
21	くり抜かれた洞窟	1200 × 1800	紅海、エジプト	2007
22	イエローバンドエンジェルフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	1980
23	レモンコーラルゴビー	360 × 540	紅海、エジプト	2005
24	キンギョハナダイ	700 × 480	紅海、エジプト	2007
25	ピカソトリガーフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	2005
26	ローニンアジ	480 × 700	紅海、エジプト	2007
27	ソハールサージョンフィッシュ	360 × 540	紅海、エジプト	2005

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
28	ブルームテイルラス	360 × 540	紅海、エジプト	2005
29	キンメモドキ	1200 × 1800	紅海、エジプト	2007
30	バラフエダイの群れ	600 × 900	紅海、エジプト	2007
31	トラフザメ	600 × 900	紅海、エジプト	1984
32	ウミウチワ	600 × 900	紅海、エジプト	2007
33	ヤギの仲間	600 × 900	紅海、エジプト	2007
34	生育権をめぐる生物たち	700 × 480	紅海、エジプト	2004
35	ドロップオフの印象	700 × 480	紅海、エジプト	2007

◆第2展示室 命めぐる海 海中顔面博覧会

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
1	サンゴの白い道	600 × 900	座間味島、沖縄県	1995
2	ギンガメアジ	600 × 900	シパダン島、マレーシア	2008
3	ローニンアジの形相	600 × 900	グアム	1996
4	ミスジリュウキュウスズメダイ	600 × 900	座間味島、沖縄県	1993
5	ウメイロモドキ	900 × 600	ラヤンラヤン島、マレーシア	2000
6	サヨリとデバスズメ	900 × 600	グアム	2008
7	アンチョビの竜巻	1200 × 1800	エルニド、フィリピン	1983
8	発光サンゴ	360 × 540	座間味島、沖縄県	1998
9	ジンベイザメ	1200 × 1800	マウイ島、ハワイ	1978
10	ホホジロザメ	600 × 900	ガーンズベイ、南アフリカ	2006
11	アヤコショウダイ	600 × 900	ロロアタ島、パプアニューギニア	2005
12	カリブの海	480 × 700	カリブ海、ベリーズ	1995
13	ノウサンゴの芸術	900 × 600	与那国島、沖縄県	2004
14	ブルーホールにて	700 × 480	グアム	2008
15	ハマフエフキとダイバー	1200 × 1800	座間味島、沖縄県	1995
16	オオカミウオ	1200 × 1800	羅臼、北海道	1994
17	トガリエビス	700 × 480	座間味島、沖縄県	1986
18	モンツキカエルウオ	900 × 600	サイパン	2004
19	メガネウオ	700 × 480	座間味島、沖縄県	1989
20	コブシメ	1200 × 1800	座間味島、沖縄県	1989
21	オオイソバナとクロホシイシモチ	900 × 600	座間味島、沖縄県	1985
22	イバラカンザシ	360 × 540	ロロアタ島、パプアニューギニア	2005
23	ミカドウミウシの卵	480 × 700	小笠原諸島、東京都	1994
24	テズルモズル	1200 × 1800	座間味島、沖縄県	1985
25	ムラサキハナギンチャク	600 × 900	大瀬崎、静岡県	1985
26	風の海は穏やか	1800 × 1200	座間味島、沖縄県	1995
27	タコノマクラ	360 × 540	伊豆大島、東京都	1994
28	マンジュウヒトデ	360 × 540	マジュロ、マーシャル諸島	2002
29	シマキンチャクフグ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2005
30	ハナヒゲウツボ	360 × 540	座間味島、沖縄県	1989
31	トウシマコケギンボ	360 × 540	伊豆大島、東京都	1996
32	イシガキカエルウオ	360 × 540	紅海、エジプト	1987
33	オニカサゴを喰らうウツボ	480 × 700	西表島、沖縄県	1988
34	オスが出産するタツノオトシゴ	480 × 700	越前海岸、福井県	2006
35	クマドリカエルアンコウ	600 × 900	伊豆大島、東京都	2000
36	サンゴの産卵	1200 × 1800	西表島、沖縄県	1998
37	フウセンクラゲとエビ	900 × 600	羅臼、北海道	1994
38	イクオネ	480 × 700	羅臼、北海道	1995
39	テカギイカ出現	480 × 700	羅臼、北海道	1994
40	テカギイカの産卵	480 × 700	羅臼、北海道	1994
41	ぼろぼろのテカギイカ	1800 × 1200	羅臼、北海道	1994
42	テカギイカ海に還る	600 × 900	羅臼、北海道	1996
60	海中顔面博覧会	1360 × 5100		

◆第3展示室 東京湾

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
1	ヒメホウキムシ	700 × 480	船橋市沖三番瀬、千葉県	1996
2	上空から見た東京湾	480 × 700	東京湾上空	1987
3	もぐり船、漁場に急行	480 × 700	富津岬、千葉県	1986
4	東京湾で初撮影	600 × 900	お台場、東京都	1977
5	シャコ出現	360 × 540	お台場、東京都	2001
6	空き缶はマイホーム	600 × 900	行徳、千葉県	1977
7	母イソガニ	600 × 900	お台場、東京都	1977
8	マダコ	360 × 540	姉ヶ崎、千葉県	2002
9	マアナゴ	360 × 540	お台場、東京都	2001
10	ヒトデうごめく	360 × 540	海ほたる、神奈川県	1993
11	イソギンチャクの仲間	480 × 700	君津市、千葉県	1993
12	マゴチの擬態	360 × 540	君津市、千葉県	1995
13	ヘドロとムラサキイガイ	600 × 900	お台場、東京都	1995
14	帰化生物たち	480 × 700	君津市、千葉県	2007
15	ムラサキイガイ死滅	480 × 700	お台場、東京都	1995
16	コウイカの産卵	600 × 900	富津岬、千葉県	1986
17	コウイカの卵	600 × 900	富津岬、千葉県	1986
18	アイナメの卵	700 × 480	姉ヶ崎、千葉県	1994
19	アイナメの赤ちゃんたち	480 × 700	姉ヶ崎、千葉県	1994
20	イシガニの交尾	360 × 540	姉ヶ崎、千葉県	1996
21	イトマキヒトデ	360 × 540	姉ヶ崎、千葉県	2007
22	ユビナガホンヤドカリの求愛	360 × 540	君津市、千葉県	1993
23	イシガニの交尾	900 × 600	富津岬、千葉県	1988
24	イッカククモガニ	360 × 540	お台場、東京都	2000
25	アオウミウシ	360 × 540	猿島、神奈川県	1995
26	クロガネイソギンチャクの捕食	480 × 700	君津市、千葉県	1993
27	ミズクラゲ危うし	480 × 700	君津市、千葉県	1993
28	マハゼを喰らう貝	360 × 540	お台場、東京都	1977
29	マヒトデの食事	360 × 540	君津市、千葉県	1993
30	ゴカイの死	360 × 540	お台場、東京都	1977
31	ツメタガイ	360 × 540	姉ヶ崎、千葉県	1993
32	共食いをする貝	360 × 540	船の科学館前、東京都	1977
33	トリガイ	360 × 540	お台場、東京都	2001
34	イシガニの死	360 × 540	君津市、千葉県	1985
35	ヤドカリの逆襲	360 × 540	猿島、神奈川県	1995
36	メバルの群れ	600 × 900	姉ヶ崎、千葉県	1993
37	マダコの住み家	600 × 900	君津市、千葉県	1993
38	サザナミフグ	600 × 900	姉ヶ崎、千葉県	2007
39	ジャノメガザミ	600 × 900	姉ヶ崎、千葉県	1993
40	ナマコとヒトデ	600 × 900	海ほたる、神奈川県	1993
41	ヒトデの赤ちゃん	600 × 900	姉ヶ崎、千葉県	1997
42	ハオコゼ	600 × 900	猿島、神奈川県	1993
43	ユビナガホンヤドカリの好物	600 × 900	猿島、神奈川県	1995
44	アートするウミウシの卵	600 × 900	姉ヶ崎、千葉県	1997
45	江戸前のノリ	600 × 900	船橋市沖三番瀬、千葉県	1993
46	ワカメの繁茂	600 × 900	船橋市沖三番瀬、千葉県	1993

◆第4展示室 ジープ島

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
1	小さなジープ島	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
2	宝石の島ジープ島	900 × 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
3	サンゴに守られる島	1200 × 1800	ジープ島、ミクロネシア	2007
4	小島誕生	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2007

No.	作品名	サイズ(mm)	場 所	撮影年
5	北側はエサダンゴ畑	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
6	空のオブジェ、入道雲	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
7	トビウオの飛翔	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
8	ぬいぐるみみたいなビキニ	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
9	半水面で眺めるジープ島	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
10	疾走するイルカ	900 × 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
11	イルカのあいさつ	1800 × 1200	ジープ島、ミクロネシア	2005
12	エビクラゲ	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
13	海は止まらない	900 × 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
14	魚群の往来	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
15	サンゴに依存する	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
16	島を守るサンゴたち	1200 × 1800	ジープ島、ミクロネシア	2007
17	シマハギ出現	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
18	花火のような美しさ	900 × 600	ジープ島、ミクロネシア	2005
19	ソフトコーラルの群生	900 × 600	ジープ島、ミクロネシア	2007
20	遊び心を持つ海	700 × 480	ジープ島、ミクロネシア	2007
21	キンセンイシモチ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
22	キンチャクフグ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
23	セグロチョウチョウウオ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
24	オレンジフィンアネモネフィッシュ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
25	フォックスフェイス	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
26	マジリアイゴ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
27	5ミリのカニ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
28	ミクロネシアンミツスイ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
29	アジサシのヒナ	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
30	旅人の置き土産	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2005
31	浮上前に見たスコール	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
32	スコール襲来	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
33	アジサシのコロニー	1200 × 1800	ジープ島、ミクロネシア	2007
34	虹のかけ橋	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2005
35	夕焼けに浮かぶジープ島	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
36	自然のダイナミズムに感動	360 × 540	ジープ島、ミクロネシア	2007
37	シノトリペル	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2007
38	星座浴	1200 × 1800	ジープ島、ミクロネシア	2007
39	天の川	700 × 480	ジープ島、ミクロネシア	2007
40	一日の始まり	480 × 700	ジープ島、ミクロネシア	2005
41	朝の散歩	700 × 480	ジープ島、ミクロネシア	2007
42	キミシマ環礁	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
43	東の間のふれ合い	600 × 900	ジープ島、ミクロネシア	2007
44	椰子と青空	700 × 480	ジープ島、ミクロネシア	2005
45	ハマクマノミのコロニー	1200 × 1800	ジープ島、ミクロネシア	2007

◆掲載記事

読売新聞	6/30、7/6
秋田魁新報	7/2、7/3、7/5、7/20、8/4、9/3
朝日新聞	7/9
河北新報	8/28
あきたタウン情報	7月号
rakra	7・8月号
よこて市報	7/1号
新美術新聞	4/1、

iii neoteny japan —高橋コレクション 日本新世代のトップアーティスト

会期：2009年9月19日(土)～11月29日(日)

主催：秋田県立近代美術館

後援：秋田魁新報社、朝日新聞社秋田総局、毎日新聞社秋田支局、
読売新聞社秋田支局、河北新報社秋田総局、NHK秋田放送局、
ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田

担当：山本丈志・小笠原宏

本展は日本屈指の現代美術のコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏が収集した作品により、世界から注目を集める1990年代以降の日本の現代美術の流れと動向をたどる。現代用語のひとつとして取り上げられるようになった。「neoteny（ネオテニー＝幼形成熟の意）」をキーワードに、高橋コレクションから33人の作家の作品を選び、本展を構成した。奈良美智、村上隆など国際的に活躍する作家、秋田出身の鴻池朋子、村山留里子など多彩な作家による絵画、立体、映像、インスタレーションなど94点の作品を紹介した。



No.	作家名・作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横×奥行)cm
■会田 誠				
1	大山椒魚	2003	アクリル絵具、パネル	314 × 420
2	紐 育空爆之図 (戦争画 RETURNS)	1996	六曲一隻屏風 襖、蝶番、日本経済新聞、ホログラムペーパー にプリントアウトしたCGを白黒コピー、 チャコールペン、水彩絵具、アクリル絵具、 油性マーカー、事務用修正ホワイト、鉛筆、その他 零戦CG 制作：松橋睦生	169 × 378
■青山 悟				
3	校庭 (西)	2004	刺繍、ポリエステル	47.2 × 52.7
4	校庭 (東)	2004	刺繍、ポリエステル	47.2 × 52.6
5	Ring	2005	刺繍、ポリエステル (コットン、ポリエステル糸)	25 × 35
■秋山 さやか				
6	ベルリンをあるく 2006年6月1日～16日	2006	ししゅう糸・もめん糸・毛糸・リボン・針がね・ひも・ ビーズ・シール・インク・絵の具・顔料・紙・布・ ビール・ワイン・せっけん・きっぷ・手ぶくろ・ アパートの壁土・植物。。。などベルリンで見つけた素材 と、手すき和紙	(16点組)12.7 × 30.7 他
7	あるく 私の生活基本形 横手 2009年9月8日～16日	2009	ししゅう糸、もめん糸、ポリエステル糸、毛糸、レース糸、 ひも、リボン、ヘアゴム、ビーズ、ボタン、シール、 アクセサリ、はぎれ布、メモやパンフレットの切れはし、 買い物ぶくろ、あらゆる食べ物の包み紙、飲みものの ラベル、駅弁の包み紙、箸ぶくろ、つまようじ、ウェット ティッシュ、切符、おまけ、ご当地ストラップ、などなど …横手でみつけた素材・ポリエステル布に昇華プリント	73.5 × 35.5 × 9.0
■池田 学				
8	領域	2004	ペン、インク、紙	42 × 59.5
9	興亡史	2006	ペン、インク、紙	200 × 200

No.	作家名・作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横×奥行)cm
■池田 光弘				
10	untitled	2007	油彩、カンヴァス	162 × 112
11	untitled	2006	アクリル絵具、油彩、綿布	240 × 182
■伊藤 存				
12	よだれのきらめき	2001	刺繍、布、木枠にマウント	300 × 300
13	空地 (コウモリ)	2003	刺繍 (両面)、布	95 × 174
■小川 信治				
14	WITHOUT YOU - Lady Seated at a Virginal	2000	油彩、カンヴァス	30 × 26.5
15	最後の晚餐 - イエス -	2001	鉛筆、乾性油、水彩紙	56 × 76
16	最後の晚餐 - ユダ -	2001	鉛筆、乾性油、水彩紙	56 × 76
17	最後の晚餐 - 弟子たち -	2001	鉛筆、乾性油、水彩紙	56 × 76
■小沢 剛				
18	地藏建立 - 天安門広場 [中国]	1989	ゼラチンシルバークラフト、調色	24.5 × 24.5
19	ベジタブル・ウェポン・アイランドのグラフィックス (生鮭の岩塩・ハーブ漬け) / ニューヨーク	2002	ラムダプリント	113 × 156
20	ベジタブル・ウェポン・ナン・プリ / チェンマイ、タイ	2004	ラムダプリント	113 × 156
21	なすび画廊 - 福田美蘭	1993	牛乳箱、おもちゃ、ボジフィルム	34.5 × 20 × 13.5
22	なすび画廊 - 宮島達男	1994	牛乳箱、造花、チェーン、木材	33 × 20 × 14.5
23	新なすび画廊 - 小沢剛	1999	牛乳箱、シール	33 × 20 × 15
■岡本 一太郎・三太郎 (小沢 剛)				
24	無題 (尾形光琳)	2007	二曲一双、醤油画、シルクスクリーン	各 158 × 175
■小谷 元彦				
25	Human Lesson (Dress 01)	1996	オオカミの毛皮、他	166.5 × 78 × 30
26	Solange	2003	透明エポキシ樹脂、ピアノ線、他	60 × 30 × 30
27	Fingerspanner	1998	木 (メイプル)、弦、鉄	サイズ可変
28	Phantom-Limb	1997	C プリント、アクリルフレーム	5 点組 各 148 × 111
■加藤 泉				
29	無題	2007	木、アクリル絵具、木炭、シリコン、鉄	167.5 × 41 × 41
30	無題	2004	木、アクリル絵具、木炭	205 × 56 × 52
31	無題	2004	油彩、カンヴァス	194 × 97
32	無題	2007-2008	木、油絵具、天然石、鉄	101 × 27.5 × 23
33	無題	2007	油彩、カンヴァス	194 × 130.3
34	無題	2009	ペン、鉛筆、方眼紙	29.5 × 20.7
■加藤 美佳				
35	パンジーズ	2001	油彩、カンヴァス	235 × 187
■工藤 麻紀子				
36	もうすぐ衣替え	2003	油彩、カンヴァス	181.9 × 227.3
■鴻池 朋子				
37	Knifer life	2000-2001	アクリル絵具、鉛筆、墨、カンヴァス、木パネル	180 × 810 × 5
38	惑星はしばらく雪に覆われる	2006	ミクストメディア、インスタレーション	130 × 270 × 85
39	mimio-Odyssey	2005	DVD	約 11 分 30 秒
■小林 孝亘				
40	Dog	1998	油彩、カンヴァス	145.5 × 112.1
41	Sunbather 8	2003	油彩、カンヴァス	194 × 259
■佐伯 洋江				
42	Untitled	2007	ペンシル、インク、紙	4 点組 各 111 × 79
■さわ ひらき				
43	elsewhere	2003	ビデオ (モノクロ、サイレント)	7 分 40 秒
44	spotter	2003	ビデオ (モノクロ)	7 分 40 秒

No.	作家名・作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横×奥行)cm
■須田 悦弘				
45	泰山木一実	1999	木に彩色	
46	雑草	2008	木に彩色	
■高嶺 格				
47	Korean Studies	2004	陶土、釉薬、鳥の羽	60 × 45 × 45
■束芋				
48	にっぽんのちっちゃい台所	2003	ミクストメディア	40 × 58.5 × 50
49	屋上からの景色	2003	インク、和紙	183 × 360
50	賞味期限	2003	インク、和紙	256.5 × 201
51	台所での犯罪	2003	インク、和紙	121 × 114
52	台所の片隅	2003	インク、和紙	113 × 107
53	ありきたりの終焉	2003	インク、和紙	221 × 374
■千葉 正也				
54	平和な村	2007	油彩、カンヴァス	170 × 280
■でき やよい				
55	みみちん	1998	アクリル、紙、パネル	145.5 × 103
56	Untitled (Francesco & Yayoi)	2001	ポスターカラー、紙、パネル	276 × 266.5
■照屋 勇賢				
57	告知ー森	2005	紙袋 (シャネル)、接着剤	8.0 × 17.5 × 25.5
58	告知ー森	2006	紙袋 (ゴディバ)、接着剤	5.0 × 9.0 × 18.0
■天明屋 尚				
59	ネオ千手観音	2002	アクリル絵具、木	227.3 × 162
■奈良 美智				
60	In the Deepest Puddle	1995	アクリル絵具、カンヴァス	125 × 115 × 6.5
61	Candy Blue Night	2001	アクリル絵具、綿布	116.5 × 100
62	Untitled	1999	アクリル絵具、色鉛筆、プラスチック、板	240 × 276
63	green mountain	2003	アクリル絵具、色鉛筆、紙	137.0 × 134.5
■名和 晃平				
64	PixCell-Gazelle#2	2006	ミクストメディア	74 × 30 × 45
65	PixCell-Trumpet#2	2006	ミクストメディア	15 × 57 × 19
66	PixCell-Shoe#4(R)	2006	ミクストメディア	12 × 20 × 9
■西尾 康之				
67	素粒の鎧	1997	ファイバープラスター、陰刻鋳型	7点組 175 × 40 × 20 他
68	巨大女為正義	2002	テラコッタ	16点組 各 7 × 5 × 5
■町田 久美				
69	郵便配達夫	1999-2006	青墨、岩絵具、雲肌麻紙	159 × 88.5
70	訪問者	2004	墨、岩絵具、顔料、雲肌麻紙	90.9 × 116.7
■丸山 直文				
71	Island of Mirror	2003	アクリル、綿布	181.8 × 227.3
■三沢 厚彦				
72	Dog 2001-02	2001	楠に油彩	78 × 25 × 90
73	Cat 2002-02	2002	楠に油彩	34.5 × 19 × 91
74	animal 2005-02	2005	粘土、木、ボンド、紙、アクリル	16 × 15 × 44.5
■ Mr.				
75	ブラジリアン柔術クリスマス	2002	アクリル絵具、パッチワーク・カンヴァス	250 × 204
76	ドイツ人かもしれない	2002	アクリル絵具、カンヴァス	51.5 × 37.4
■三宅 信太郎				
77	STAR SWEET SHINTARO WARS LIVE PAINTING 夢工場の逆襲への 新たな挑戦	2002	アクリル絵具、色鉛筆、クレヨン、 インク、鉛筆、紙、人形4体	130 × 480

No.	作家名・作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横×奥行)cm
■村上 隆				
78	レイ・ヴィトンのお花畑	2003	木、シルク、酸性染料、箔、金属、プラチナ、紙	150.2 × 273
79	ポリリズム 赤	1989	アクリル、板、田宮模型 1/35 スケールアメリカ歩兵 (GI セット)	98 × 60.7
80	ポリリズム	1991	合成樹脂、キャスト、ステンレス・ バー、板に鉛、田宮模型 1/35 スケール アメリカ歩兵 (GI セット)	234 × 36 × 12.5
81	中村と村上	1992	シルクスクリーン、ステンレス	27 × 100 × 2.3
82	無題	1994	銀箔、ボード	30 × 30 × 7.5
83	無題	1994	金箔、ボード	30 × 30 × 7.5
84	Mr.DOB	1996	塩化ビニール、ヘリウムガス	114 × 184 × 97
85	ズザザザザ	1994	アクリル絵具、シルクスクリーン、カンヴァス、板	150 × 170
■村瀬 恭子				
86	Lights in the Forest (Sitting)	2003	油彩、綿布	180 × 145
87	Lights in the Forest (Standing)	2003	油彩、綿布	180 × 145
■村山 留里子				
88	愛のドレス	2004	ミクストメディア	130 × 150 × 160
89	ガラス亡霊婦人	2006	ガラス、絹、麻、鉄、針金、ビーズ、鏡、木	205 × 110 × 128
90	No title (RB01-10)	2004	ミクストメディア、ビスチェ	10 点組 37 × 35 他
■山口 晃				
91	今様遊楽圖	2000	油彩、カンヴァス	71 × 342
92	今様遊楽圖下図	2000	鉛筆、ペン、カンヴァス	71 × 342
93	當吉お婆か合戦 ーお婆か軍本陣圖	2001	油彩、水彩、カンヴァス	185 × 76
94	五武人圖	2003	墨、紙	5 点組 各 170 × 60

◆関連記事

河北新報	8/26、9/8、9/10、9/18、10/8
秋田魁新報	9/3、9/10、9/17、9/19、10/1、10/14
あきたタウン情報	9 月号、10 月号、11 月号
rakra	9・10 月号、11・12 月号
よこて市報	11/1 号
新美術新聞	6/21、8/1、9/1、10/1、11/1

iv 奈良裕功・素描展 時有幽花

会期：2009(平成 21)年 12 月 5 日(土)～ 2010(平成 22)年 2 月 15 日(月)
主催：秋田県立近代美術館
担当：山本丈志、木村雅洋

秋田県鹿角市出身の日本画家奈良裕功の素描、写生を「古人惜寸陰」＝修業時代、「時有幽花」＝植物、「處處聞啼鳥」＝鳥・昆虫、「寫生春秋」＝日常という 4 つのテーマにわけ、おおそ年代順に構成し作家の経歴とともに紹介した。

第 1 展示室 古人惜寸陰

雑詩十二首(其五)から

古人惜寸陰 古人寸陰を惜しめり

念此使人懼 此を念へば人をして懼れしむ 陶潜(陶淵明・365 -427) 東晋の詩人



※作品はすべて秋田県立近代美術館蔵

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横)cm
1	模写図巻「三十六歌仙」	1909(明治 42)	紙本墨画着色	27.0 × 1745.2
2	牡丹図	1910(明治 43)頃	紙本墨画着色	125.4 × 43.4
3	八重桜	1910(明治 43)頃	紙本墨画着色	42.8 × 32.1
4	躑躅	1910(明治 43)頃	紙本墨画着色	43.2 × 32.2
5	薔薇	1910(明治 43)頃	紙本墨画着色	43.2 × 32.3
6	紫陽花	1910(明治 43)	紙本墨画着色	39.5 × 27.8
7	枇杷	1910(明治 43)	紙本墨画着色	32.4 × 39.9
8	模写図巻	1910(明治 43)	紙本墨画着色	27.2 × 1816.2
9	文人図	1910(明治 43)	紙本墨画着色	134.3 × 67.1
10	模写図巻「平治物語絵詞・六波羅合戦巻模本(白描)」	1910(明治 43)頃	紙本墨画	39.4 × 904.2
11	模写・鷹図	—	紙本墨画着色	54.0 × 38.7
12	模写・鷹図	—	紙本墨画着色	53.5 × 38.3
13	模写・鷹図「青白生」	—	紙本墨画着色	80.0 × 38.0
14	模写・鷹図	—	紙本墨画着色	54.0 × 38.8
15	模写・鷹図「常盤」	—	紙本墨画着色	38.8 × 26.7
16	山辺の道	1919(大正 8)	紙本墨画着色	33.0 × 24.1
17	棚田	1919(大正 8)	紙本墨画着色	32.8 × 24.0
18	瀧	1919(大正 8)	紙本墨画着色	33.2 × 24.0
19	上野動物園	1925(大正 14)	紙・鉛筆	54.2 × 86.6
20	上野動物園	1925(大正 14)	紙・鉛筆	36.7 × 79.5
21	菊	1916(大正 5)	紙本墨画着色	134.2 × 66.2

第 2 展示室 時有幽花

淮中晩泊犢頭 淮中晩に犢頭に泊す

春陰垂野草青青 春陰野に垂れて 草青青

時有幽花一樹明 時に幽花有りて 一樹明らかなり

晩泊孤舟古祠下 晩に孤舟を泊す 古祠の下

滿川風雨看潮生 滿川の風雨 潮の生ずるを見る 蘇舜欽(1008 -1048)宋時代の詩人。

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横)cm
22	睡蓮	1919(大正 8)	紙本墨画	23.6 × 31.0
23	睡蓮	1919(大正 8)	紙本墨画	23.2 × 31.0
24	睡蓮	1919(大正 8)	紙本墨画	23.2 × 31.0
25	睡蓮	1919(大正 8)	紙本墨画	23.0 × 30.0
26	石楠花 しゃくなげ	1920(大正 9)	紙本墨画	32.7 × 24.0
27	石楠花	1920(大正 9)	紙本墨画	33.0 × 24.4
28	石楠花	1920(大正 9)	紙本墨画着色	32.8 × 24.5
29	石楠花	1920(大正 9)	紙本墨画着色	32.5 × 24.0
30	桜	1921(大正 10)頃	紙本墨画淡彩	23.8 × 32.4
31	桜	1921(大正 10)頃	紙本墨画	23.8 × 32.2
32	豌豆 えんどう	1921(大正 10)	紙本墨画淡彩	32.3 × 24.0
33	豌豆	1921(大正 10)	紙本墨画淡彩	32.5 × 24.0
34	山漆 むしかり	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	37.0 × 28.0
35	虫狩	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	28.0 × 36.9
36	虫狩	1928(昭和 3)	紙・鉛筆	28.0 × 73.5
37	満作(部分) まんさく	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	27.7 × 36.9
38	菰 蓼 きよとらいばら	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	28.0 × 36.9
39	菰 蓼	1928(昭和 3)	紙・鉛筆	37.0 × 56.1
40	菰 蓼	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	28.0 × 74.3
41	深山檜 みやましきみ	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	31.2 × 23.2
42	猿梨(部分)	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	31.2 × 23.2
43	落葉	1931(昭和 6)	紙・鉛筆、顔彩	28.5 × 49.8
44	落葉	1931(昭和 6)	紙・鉛筆、顔彩	28.5 × 49.8
45	月夜茸	1931(昭和 6)	紙・鉛筆、顔彩	28.5 × 49.7
46	岩絡	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	78.0 × 28.0
47	枯木	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	28.2 × 78.0
48	枯木	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	28.2 × 77.5
49	深山莢蒾 がますみ	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	28.2 × 77.9
50	深山莢蒾	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	28.2 × 78.0
51	落葉	1932(昭和 7)	紙本着色	28.2 × 76.0
52	落葉	1932(昭和 7)	紙本着色	28.0 × 78.0
53	落葉	1932(昭和 7)	紙本着色	28.2 × 78.0
54	蝦蟇 えびつゐ	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 76.6
55	蝦蟇と小櫛 こなら	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 77.3
56	三葉木通	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	76.3 × 28.0
57	三葉木通	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	76.2 × 27.8
58	栗	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	27.8 × 75.4
59	栗	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	27.8 × 76.3
60	虎杖	1936(昭和 11)	紙本墨画	28.2 × 40.2
61	烏瓜	1932(昭和 7)	紙・鉛筆	37.8 × 57.6
62	桐	1932(昭和 7)	紙・鉛筆	37.9 × 57.6
63	桐の実	1934(昭和 9)頃	紙・鉛筆	37.1 × 55.9
64	山葡萄	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	75.8 × 28.0
65	山葡萄	1935(昭和 10)	紙本墨画着色	75.6 × 28.0
66	山葡萄	1935(昭和 10)	紙本墨画	76.0 × 28.0
67	椿(部分)	1935(昭和 10)	紙・鉛筆	37.1 × 28.0
68	花菖蒲	1935(昭和 10)	紙・鉛筆、顔彩	37.0 × 55.8
69	石楠花 しゃくなげ	1940(昭和 15)頃	紙・鉛筆、顔彩	42.4 × 57.0

第3展示室 處處聞啼鳥

春曉

春眠不覺曉 春眠曉を覺えず

處處聞啼鳥 處處啼鳥を聞く

夜來風雨聲 夜來風雨の聲

花落知多少 花落つること 知る多少 孟浩然(689-740) 唐時代の詩人。

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横)cm
70	紋黄蝶、花虻、裏波小灰蝶・菊	1916(大正 5)頃	紙本墨画着色	25.5 × 35.5
71	黄蝶と菊・紋白蝶と菊	1916(大正 5)頃	紙本墨画着色	25.5 × 34.9,25.4 × 34.8
72	菊・紋白蝶、紋黄蝶	1916(大正 5)頃	紙本墨画着色	25.5 × 35.0
73	蜻蛉	1920(大正 9)頃	紙本墨画	25.1 × 34.5
74	鬼蜻蜓・夏茜蜻蛉	1920(大正 9)頃	紙本墨画着色	25.1 × 34.7
75	塩辛蜻蛉	1920(大正 9)	紙本墨画着色	24.2 × 32.7
76	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	25.3 × 34.7
77	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	24.2 × 33.1
78	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	24.2 × 33.0
79	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	24.2 × 33.1
80	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	24.2 × 33.0
81	螳螂	1922(大正 11)	紙本墨画	25.2 × 34.7
82	銀蜻蜓・蝸牛	1924(大正 13)	紙本墨画着色	25.1 × 34.0
83	麝香揚羽蝶	1926(大正 15)	紙本墨画着色	24.9 × 34.0
84	揚羽蝶	1926(大正 15)	紙本墨画着色	25.1 × 34.0
85	山鳥	1929(昭和 4)	紙本墨画着色	134.3 × 67.3
86	鸚鵡	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	21.0 × 32.8
87	赤啄木鳥	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
88	懸巢	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
89	緑啄木鳥	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
90	小啄木鳥	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
91	背黒鵠鵠	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
92	翡翠	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
93	柄長	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
94	厨鵠	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.2
95	朝鮮柄長	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.8 × 33.1
96	深山頬白	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.2
97	田雲雀	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
98	鶯	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.8 × 33.0
99	木葉木菟	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.8 × 33.0
100	四十雀	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.8 × 33.0
101	鶇	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	20.8 × 33.2
102	鶇	1930(昭和 5)	紙・鉛筆	20.9 × 33.0
103	鶇	1930(昭和 5)	紙・鉛筆	20.8 × 32.0
104	鶇 鶇	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	28.2 × 40.7
105	虎斑木菟	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	33.7 × 24.6
106	雉鳩	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 40.2
107	緑鳩	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 40.1
108	栗鼠	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	24.7 × 66.4
109	柘榴・首螽斯	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 40.1
110	柘榴・首螽斯	1934(昭和 9)	紙本墨画着色	28.2 × 40.2
111	裏銀豹紋蝶	1940(昭和 15)	紙本墨画着色	28.2 × 40.1
112	山女魚	1935(昭和 10)	紙・鉛筆、顔彩	36.5 × 27.0

第4展示室 寫生春秋

寄展覽會

古人何紙臨 古人は何をもって紙に臨み

何感彩管執 何を感じて彩管を執る

一意有畫欲 一意は描くを欲するに有り

寫生有春秋 寫生春秋に有り

山本丈志(1961-) 当館学芸員

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(縦×横)cm
113	炭焼小屋	1928(昭和 3)	紙・鉛筆、顔彩	38.0 × 58.7
114	停車場	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	31.1 × 45.8
115	停車場の人たち	1929(昭和 4)	紙・鉛筆	32.2 × 47.1
116	夜衾草 よぶすまそう	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.7 × 28.7
117	根曲竹	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
118	鰻 うぐい	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
119	牛尾菜 しおで	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
120	岩魚・鰻・蕨 かじか わらび	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
121	犬の親子	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
122	子犬	1932(昭和 7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6 × 57.5
123	米子蕨 よなごかぶ	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	65.0 × 25.8
124	毛馬内風景	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	25.7 × 64.9
125	毛馬内風景	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	24.7 × 64.0
126	造り酒屋	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	24.8 × 65.3
127	毛馬内風景	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	24.8 × 64.8
128	毛馬内町	1932(昭和 7)	紙本墨画着色	24.9 × 65.9
129	芹 せり	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.2 × 40.3
130	二十日大根	1936(昭和 11)	紙本墨画	28.2 × 40.8
131	二十日大根	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
132	山東菜 さんとうな	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
133	独活・林檎	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 77.2
134	椎茸	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
135	タラボ	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
136	タラボ	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
137	草蘇鉄 くみ	1936(昭和 11)	紙本墨画着色	28.1 × 40.3
138	奥入瀬	1942(昭和 17)	紙本墨画	39.9 × 51.5
139	奥入瀬	1942(昭和 17)	紙本墨画	39.9 × 51.3
140	蔦川	1931(昭和 6)	紙本墨画着色	28.4 × 49.6

◆関連記事

読売新聞	12/1
秋田魁新報	12/2、12/3、12/10、12/31、1/28
河北新報	12/30、1/28
あきたタウン情報	12 月号、1 月号
rakra	1・2 月号
よこて市報	12/1
新美術新聞	8/1、12/1

V Touch it ! 手でみる彫刻展

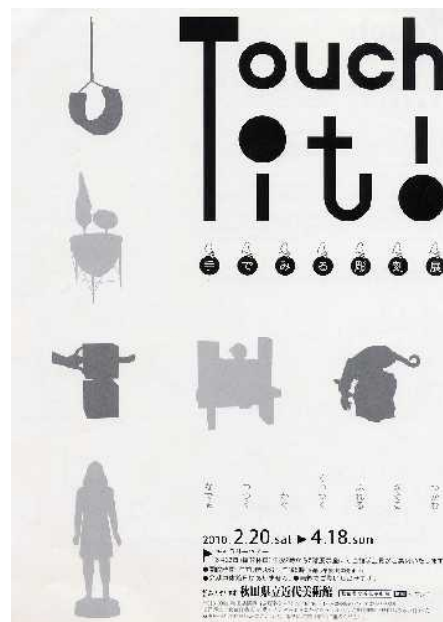
会期：2010(平成22)年2月20日(土)～4月18日(日)

主催：秋田県立近代美術館

担当：小笠原宏

当館所蔵の彫刻作品を触って鑑賞してもらう展覧会を企画し、ブロンズ、石、木やテラコッタなど35点の作品を展示した。また、さわって遊べる木の遊具の展示も行った。

展覧会に先立ち、1月28日に出前美術館として出展作品6点と木の遊具の展示を県立盲学校で開催した。



第1展示室 「素材」を感じる

No	作家名	作品名	制作年	素材・技法	大きさ(高さ×幅×奥行)
1	朝倉 文夫	よく獲たり	1946(昭和21)	ブロンズ	51.6 × 64.0 × 29.0
2	松田 芳雄	ふくろう	2008(平成20)	ブロンズ	60.0 × 85.0 × 50.0
3	三木 富雄	E A R 耳	1972(昭和47)	アルミニウム	72.0 × 60.0 × 3.0
4	遠藤洪平六	こんにゃく石一時の貌'89-5	1989(平成1)	大理石・麻・鉄	235.0 × 95.0 × 55.0
5	遠藤洪平六	こんにゃく石ー浮遊する虚体'93-II	1993(平成5)	白大理石・ステンレス	83.0 × 46.5 × 24.5
6	高田 博厚	女優のマスク	1934(昭和9)	ブロンズ	21.5 × 15.0 × 16.0
7	高田 博厚	日本の女1	1976(昭和51)	テラコッタ	24.0 × 19.5 × 21.5
8	島 剛	『Workー頭像』ー加藤可奈衛像ー	1986(昭和61)	ブロンズ	33.0 × 19.0 × 27.5
9	島 剛	同 コンクリート原型	1986(昭和61)	コンクリート	33.0 × 19.0 × 27.6
10	鎌田 俊夫	クシャーナIII	1990(平成2)	桂・着色	207.0 × 48.7 × 42.0
11	阿部 米蔵	横たわる鳥人	—	桂	70.0 × 145.0 × 60.0
12	峯田 敏郎	記念撮影ー内陸縦貫鉄道・初めての旅ー	2005(平成17)	楠・桂・着色	124.8 × 106.5 × 67.0

第2展示室 「凹凸」を感じる

No	作家名	作品名	制作年	素材・技法	大きさ(高さ×幅×奥行)
13	工藤 健	座る女	1988(昭和63)	ブロンズ	73.0 × 31.0 × 43.0
14	工藤 健	母と子・春	1984(昭和59)	ブロンズ	141.0 × 48.0 × 40.0
15	皆川 嘉博	土の水による膨張	1992(平成4)	テラコッタ	100.0 × 209.0 × 77.0
16	安藤 泉	楯円生活	1975(昭和50)	銅・銀	158.0 × 70.0 × 70.0
17	堀内 正和	摩止訶俱天狗	1968(昭和43)	ブロンズ	45.0 × 23.0 × 54.0
18	野口 裕史	天空伝説「来訪者」	2007(平成19)	銅・ステンレス	80.0 × 200.0 × 130.0
19	山本 正道	旅の記憶	1986(昭和61)	ブロンズ	20.0 × 126.0 × 44.0
20	峯田 敏郎	記念撮影ー堀ー	2000(平成12)	楠・着色	170.0 × 450.0 × 80.0
21	笠原 幸生	太陽の唄声II	1988(昭和63)	ブロンズ	160.0 × 100.0 × 60.0

第3展示室 「動き」を感じる

No	作家名	作品名	制作年	素材・技法	大きさ(高さ×幅×奥行)
22	峯田 義郎	旅・ひとり	1993(平成5)	ブロンズ	72.0 × 118.0 × 26.0
23	舟越 保武	原の城	1971(昭和46)	ブロンズ	197.0 × 64.0 × 53.0
24	高田 博厚	エチュード1	1972(昭和47)	ブロンズ	12.0 × 31.0 × 14.0
25	朝倉 響子	チナ	1991(平成3)	ブロンズ	51.0 × 18.0 × 18.0
26	高田 博厚	着衣の女	1979(昭和54)	テラコッタ	67.5 × 25.5 × 24.5
27	舟越 保武	A N N	1983(昭和58)	ブロンズ	32.0 × 19.0 × 25.0

No	作家名	作品名	制作年	素材・技法	大きさ(高さ×幅×奥行)
28	佐藤 忠良	常磐の大工	1956(昭和 31)	ブロンズ	22.5 × 16.0 × 24.0
29	佐藤 忠良	うれ	1959(昭和 34)	ブロンズ	23.0 × 18.0 × 27.0
30	相川善一郎	墓守	—	ブロンズ	39.0 × 28.0 × 22.0
31	堀口 泰造	ドンキホーテとサンチョパンサ	1972(昭和 47)	ブロンズ	38.0 × 22.0 × 40.0/ 33.0 × 22.5 × 25.5
32	三浦金之進	望洋	1959(昭和 34)	ブロンズ	125.3 × 64.0 × 68.0
33	桜井 祐一	あるポーズ(六)	1967(昭和 42)	ブロンズ	85.0 × 63.0 × 90.0
34	北村 治禧	妖精 I	1969(昭和 44)	ブロンズ	92.0 × 59.0 × 79.0
35	柳原 義達	犬の唄	1961(昭和 36)	ブロンズ	153.3 × 62.0 × 62.0

第4展示室「木のぬくもり」を感じる

No	作品名	作家名・制作者
36	こどもの城	デザイン・制作 杉山明博
37	木の砂場	デザイン・制作 (株) 北樹
38	音の果物	デザイン・制作 杉山明博
39	音の人体 (1) 食べると音の出る人	デザイン・制作 杉山明博
40	音の人体 (2) たたくと音の出る人	デザイン・制作 杉山明博
41	音の人体 (3) 回転すると音の出る人	デザイン・制作 杉山明博
42	参加彫刻	デザイン・制作 杉山明博
43	組んでつくろうージャングル	デザイン・制作 杉山明博
44	木のからくり玩具「クワガタ」	蓮溪円誠
45	木のからくり玩具「タコ」	蓮溪円誠
46	木のからくり玩具「ラッコ」	蓮溪円誠
47	木のからくり玩具「カバ」	蓮溪円誠
48	木のからくり玩具「ザリガニ」	蓮溪円誠
49	木のからくり玩具「カブトムシ」	蓮溪円誠
50	木のからくり玩具「カマキリ」	蓮溪円誠
51	木のからくり玩具「トンボ」	蓮溪円誠

◆関連記事

河北新報 1/28、2/24、3/11

読売新聞 1/30(県立盲学校・出前美術館)、2/16

秋田魁新報 2/11(県立盲学校・出前美術館)、2/25、3/4、3/22

コレクション展

i もう見た！「ヒロヒサの闇に浮かぶイメージ」

ピックアップアーティスト「佐々木裕久」

会期：2009（平成21）年4月8日（水）～7月12日（日）

第1展示室（6階）：日本画名作選

第2展示室（6階）：油彩画名作選

第3展示室（6階）：日本画（佐々木裕久コレクション）

担当：木村雅洋

第1展示室

◆日本画名作選

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	出品歴
1	高橋 萬年	夏の午後	—	絹本着色	119.0 × 35.0	—
2	高橋 萬年	牡丹	—	絹本着色	137.0 × 51.0	—
3	平福 百穂	春山	1933	紙本着色	91.0 × 104.0	第1回白田舎塾展
4	平福 百穂	朝露	1915 頃 1887	絹本着色六曲一隻	134.9 × 268.6	—
5	平福 穂庵	墨堤舟遊	1913	絹本着色	127.0 × 55.0	—
6	寺崎 廣業	羅浮仙図	1899	絹本着色	226.0 × 56.5	第2回廣業作品展
7	寺崎 廣業	小野小町	1933	絹本着色	127.2 × 50.5	1920 寺崎廣業遺作展
8	福田 豊四郎	五月山湯	1936	紙本着色二曲一隻	144.3 × 201.9	春の青龍社第1回展
9	福田 豊四郎	六月の森	1974	紙本着色二曲一隻	210.3 × 235.0	1936 文展招待展
10	横山 津恵	花埋み	1973	紙本着色	103.0 × 102.9	第29回春の院展
11	横山 津恵	花陰	1770 年代	紙本着色	106.5 × 106.4	第28回春の院展
12	小田野直武	不忍池図	1700 年代後半	絹本着色	98.5 × 132.5	—
13	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	—	絹本着色	37.0 × 53.0	—
14	佐々木原善	花鳥	—	紙本着色	129.0 × 54.7	—
15	戸村後草園	花鳥	—	紙本墨画淡彩	121.0 × 46.8	—

第2展示室

◆油彩画名作選

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	出品歴
1	小西 正太郎	緑衣の女の肖像	1925	キャンバス・油彩	91.0 × 73.0	小西正太郎滞欧油絵展
2	田口 省吾	街の音楽	1931	キャンバス・油彩	112.0 × 145.5	第19回二科展
3	岡田 謙三	高原	1939	キャンバス・油彩	191.0 × 255.5	第26回二科展
4	大原 省三	画室にて	1959	キャンバス・油彩	145.0 × 89.8	第2回日展
5	佐藤 義雄	フルートを吹くピエロ	1949	キャンバス・油彩	116.7 × 72.7	—
6	木村 恭己	神にもなれず I	1991	キャンバス・油彩	162.1 × 130.3	1991 自由美術展
7	斎藤 昇	囚われ人 I	1986	キャンバス・油彩	162.1 × 130.3	第2回東北美術の状況展
8	小川 恒雄	地の徳	1991 — 1992	キャンバス・油彩	181.3 × 227.3	1992 全関西美術展
9	木村 榮治	黒い雨 I	1971	キャンバス・油彩	162.7 × 131.8	第7回主体美術展、 第15回安井賞展
10	大塚 博	座る人	1991	キャンバス・油彩	162.1 × 130.3	1991 自由美術展
11	紺野 五郎	いくつかの出会い	1982	キャンバス・油彩	162.1 × 261.0	第46回新制作展
12	伊藤 大二郎	三人の道化師	1995	キャンバス・油彩	145.5 × 267.9	第39回秋田美術作家協会展

第3展示室

◆もう見た！ヒロヒサの「闇に浮かぶイメージ」。ピックアップアーティスト：佐々木裕久

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）	出品歴
1	佐々木 裕久	人物と壺(仮題)	—	紙本着色	103.4 × 72.8	—

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
2	佐々木 裕久	三人の人物(仮題)	—	合板ベニヤ・着色	72.5 × 51.5	—
3	佐々木 裕久	破船と月(仮題)	—	紙本着色	52.6 × 74.7	—
4	佐々木 裕久	霊家族(翳)	—	紙本着色	133.5 × 178.3	—
5	佐々木 裕久	天と地の対話	—	紙本着色	221.2 × 167.8	—
6	佐々木 裕久	地の華—凍結した夜	1972	紙本着色	120.0 × 165.2	第2回山種美術館賞展
7	佐々木 裕久	鳥偲考—韻	1979	紙本着色	166.7 × 237.0	第6回創画展
8	佐々木 裕久	鳥偲考—幻視	—	紙本着色	130.3 × 193.3	—
9	佐々木 裕久	幻視断層—宙	1989	紙本着色四曲一隻	160.0 × 324.0	第6回横の会展
10	佐々木 裕久	幻視断層— R103	1985	紙本着色	162.0 × 227.5	第12回創画展

◆関連記事

秋田魁新報 4/16、4/23

よこて市報 5/1 号

ii もう見た！「梅津祐司—大地夢物語」

ピックアップアーティスト「梅津祐司」

会期：2009（平成21）年7月15日（水）～10月12日（月）

第1展示室（6階）：版画（梅津祐司コレクション）

第2展示室（6階）：日本画名作展

第3展示室（6階）：彫刻・洋画・版画名作展

担当：沼田 仁

第1展示室

◆もう見た！「梅津祐司—大地夢物語」。ピックアップアーティスト：梅津祐司

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
1	梅津 祐司	未果てぬ夢 II	1978	紙・リトグラフ	47.7 × 58.8	1987 東京芸術大学院修了制作展
2	梅津 祐司	未果てぬ夢 III	1978	紙・リトグラフ	58.7 × 48.8	1978 第4回現代童画展・出版美術賞
3	梅津 祐司	未果てぬ夢 IV	1978	紙・リトグラフ	56.0 × 45.0	1987 東京芸術大学院修了制作展
4	梅津 祐司	未果てぬ夢 VI	1978	紙・リトグラフ	58.3 × 51.8	1978 アトリエ C-126 展
5	梅津 祐司	未果てぬ夢 VII	1979	紙・リトグラフ	51.0 × 58.0	1979 東京藝術大学版画グループ展
6	梅津 祐司	Earth 2	1980	紙・リトグラフ	17.5 × 25.0	—
7	梅津 祐司	Earth 3	1981	紙・リトグラフ	35.5 × 45.5	—
8	梅津 祐司	Earth 5	1981	紙・リトグラフ	43.0 × 55.0	—
9	梅津 祐司	Earth 1 2	1987	紙・リトグラフ	56.0 × 43.0	1987 サンシャイン版画グランプリ展
10	梅津 祐司	Earth 9	1982	紙・リトグラフ	55.0 × 43.0	1983 第15回リュブリアナ版画ビエンナーレ
11	梅津 祐司	Earth 8	1982	紙・リトグラフ	55.0 × 43.0	1982 アトリエ C-126 展
12	梅津 祐司	Earth 4	1981	紙・リトグラフ	55.0 × 43.0	1981 アトリエ C-126 展
13	梅津 祐司	Earth 1	1980	紙・リトグラフ	76.0 × 85.0	1980 アトリエ C-126 展
14	梅津 祐司	Earth 1 1	1983	紙・リトグラフ	63.5 × 84.5	1984 石版画個展
15	梅津 祐司	屏 風 1	1993	紙・リトグラフ	80.0 × 60.0	1993 VISIVA POESIA5 展
16	梅津 祐司	屏 風 2	1993	紙・リトグラフ	80.0 × 60.0	1993 マーストリッヒ国際ビエンナーレ
17	梅津 祐司	ull up a horse 1	1984	紙・リトグラフ	85.0 × 67.0	1984 GALERIE WINE グループ展
18	梅津 祐司	ull up a horse 2	1984	紙・リトグラフ	66.0 × 85.0	1984 石版画個展
19	梅津 祐司	遠き流れ 2	1990	紙・リトグラフ	44.0 × 64.0	1990 VISIVA POESIA4 展
20	梅津 祐司	遠き流れ 3	1991	紙・リトグラフ	63.0 × 42.5	—
21	梅津 祐司	遠き流れ 4	1991	紙・リトグラフ	44.0 × 64.0	1991 VISIVA POESIA5 展
22	梅津 祐司	遠き流れ 5	1992	紙・リトグラフ	27.5 × 39.0	1992 VISIVA POESIA6 展

第2展示室

◆日本画名作展

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	小田野直武	富嶽図	—	絹本着色	150.0 × 79.2
2	小野崎大凌	四季花鳥	1916	紙本着色六曲一双	各 94.0 × 271.0
3	平福 穂庵	緑蔭清談	1886	紙本墨画淡彩	150.0 × 79.2
4	平福 穂庵	乳 虎	1890	絹本墨画淡彩	82.4 × 159.5
5	平福 百穂	潮 騒	1931	絹本着色	138.5 × 41.5
6	平福 百穂	古伯栗鼠	—	絹本着色	135.5 × 45.0
7	平福 百穂	菜 圃	1920	絹本裏箔着色二曲一双	各 147.8 × 162.8
8	平福 百穂	獣戯画	1915	紙本墨画六曲一双	各 93.8 × 296.0
9	平福 百穂	蘆葉達磨	1925	紙本墨画	136.0 × 46.0
10	寺崎 廣業	天平美人	1906	絹本金地着色二曲一双	各 152.5 × 172.5
11	寺崎 廣業	瀟湘八景(瀟湘夜雨)	1912	紙本着色	52.1 × 86.8
12	福田豊四郎	濤	1938	紙本銀地着色四曲一隻	213.0 × 377.0
13	福田豊四郎	夏郷	1934	紙本着色二曲一隻	218.8 × 178.6

第3展示室

◆彫刻・洋画・版画名作展

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
< 彫刻 >					
1	峯田 敏郎	おんな—金沢—	1990	テラコッタ	53.0 × 39.0 × 25.0
2	峯田 敏郎	おんな—函館—	1991	テラコッタ	55.0 × 39.0 × 20.0
3	峯田 敏郎	記念撮影 内陸縦貫鉄道・初めての旅	2005 頃	樟・桂・着色	124.8 × 106.5 × 67.0
< 洋画 >					
1	伊藤 彌太	北国の街(その2)	1970	キャンバス・油彩	90.9 × 116.7
2	伊藤 彌太	象潟の初夏	1969	キャンバス・油彩	162.1 × 130.3
3	小西正太郎	婦人像	1925	キャンバス・油彩	73.0 × 60.0
4	伊勢 正義	異邦人	1972	キャンバス・油彩	185.0 × 251.0
5	金沢秀之助	肉屋の店(寄託品)	1952	キャンバス・油彩	162.0 × 130.3
6	金沢秀之助	樹下弾琴	1966	キャンバス・油彩	213.0 × 377.0
7	金沢秀之助	奈良公園にて	1967	キャンバス・油彩	145.5 × 112.1
8	葛西 康	ねぶた祭	—	キャンバス・油彩	162.0 × 130.0
9	河村千代三	緑雨	1961	キャンバス・油彩	97.0 × 130.3
10	河村千代三	風の軌跡	1961	キャンバス・油彩	97.0 × 130.3
11	河村千代三	あさ影	1956	キャンバス・油彩	91.0 × 72.8
< 版画 >					
1	勝平 得之	送り盆	1940	紙・木版	59.0 × 86.2
2	勝平 得之	雪の街	1937	紙・木版	36.7 × 51.2

◆関連記事

秋田魁新報

7/16

あきたタウン情報

10月号

iii もう見た！「伊藤博次の遙かなる地平」

ピックアップアーティスト「伊藤博次」

会期：2009（平成21）年10月15日（木）～2010（平成22）年1月11日（月）

第1展示室（6階）：洋画（伊藤博次コレクション）

第2展示室（6階）：日本画コレクション

第3展示室（6階）：洋画・彫刻・工芸・版画コレクション

担当：桎尾康子

第1展示室

◆もう見た！「伊藤博次の遙かなる地平」。ピックアップアーティスト：伊藤博次

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	伊藤 博次	砂丘	1958	キャンバス・油彩	50.5 × 100.0
2	伊藤 博次	埋	1963	キャンバス・油彩	80.3 × 80.3
3	伊藤 博次	冬C	1960	キャンバス・油彩	145.5 × 97.0
4	伊藤 博次	うみとすなと	1964	キャンバス・油彩	97.0 × 130.3
5	伊藤 博次	晩夏	1987	キャンバス・油彩	80.3 × 116.7
6	伊藤 博次	九月の風景	1978	キャンバス・油彩	91.0 × 116.7
7	伊藤 博次	ある日	1973	キャンバス・油彩	116.7 × 80.3
8	伊藤 博次	空と海と砂と…	1983	キャンバス・油彩	100.0 × 100.0
9	伊藤 博次	空と海と砂と… V	1985	キャンバス・油彩	100.0 × 100.0
10	伊藤 博次	Lune（月）	1978	キャンバス・油彩	90.9 × 116.7
11	伊藤 博次	砂時計	1977	キャンバス・油彩	145.5 × 89.4
12	伊藤 博次	遊翔	1993	キャンバス・油彩	162.0 × 80.3
13	伊藤 博次	北の岬… 6月	1989	キャンバス・油彩	89.4 × 145.5
14	伊藤 博次	折れた葦… I	1984	キャンバス・油彩	100.0 × 100.0
15	伊藤 博次	埋（山口長男先生へのレクイエム）	1983	キャンバス・油彩	100.0 × 100.0
16	伊藤 博次	黄昏のメモリ	1998	キャンバス・油彩	80.5 × 116.5

※№ 6「九月の風景」 № 8「空と海と砂と…」 № 12「遊翔」は伊藤恵美子氏より借用

第2展示室

◆日本画コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
1	小田野直武	写生帖	—	紙本着色、墨画淡彩一冊	42.5 × 28.3
2	小田野直武	鱒図	1770 年代	紙本着色	17.0 × 61.0
3	小田野直武	岩に牡丹図	—	絹本着色	48.3 × 72.7
4	平福 穂庵	嵐山	1870	紙本着色襖六面	各 167.6 × 82.1
5	平福 百穂	牛	1918	絹本裏箔着色六曲一双	各 168.5 × 373.8
6	寺崎 廣業	夜聴歌者	1915	絹本裏箔着色六曲一双	各 166.6 × 370.8
7	福田豊四郎	樹氷	1937	紙本着色四曲一隻	210.5 × 371.0
8	福田豊四郎	山脈（からす）	1941	紙本着色	216.5 × 178.0
9	谷口 深秋	姉妹	1932	紙本着色	146.0 × 152.5
10	桜庭藤二郎	山湖	1965	紙本着色	169.0 × 216.0
11	堀川達三郎	暮彩	1987	岩絵の具・キャンバス	175.1 × 221.0

第3展示室

◆洋画・彫刻・工芸・版画コレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
<工芸>					
1	佐々木 英	蒔絵色切貝水指「秋の日」	1978	彩切貝、蒔絵	径 15.5 × 高さ 20.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
2	佐々木 英 ＜彫刻＞	蒔絵箱「月歌」	1979	研出蒔絵	13.0 × 10.0 × 20.0
1	峯田 義郎 ＜洋画＞	旅・ひとり	1993	ブロンズ	72.0 × 118.0 × 26.0
1	金子 義償	つかの間の休日	1988	キャンバス・油彩	130.3 × 162.1
2	金子 義償	水景	1996	キャンバス・油彩	130.3 × 162.1
3	草薙 隆	乾杯する人々	1986	キャンバス・油彩	145.5 × 112.1
4	池内 茂吉	斜光	1982	キャンバス・油彩	130.3 × 162.1
5	三浦 明範	朝の祭壇	1989	キャンバス・油彩	162.3 × 130.3
6	紺野 五郎	見送り人席	1980	キャンバス・油彩	162.0 × 130.3
7	加藤 貞子 ＜版画＞	石の雨が降る（寄託品）	1988	キャンバス・油彩	162.0 × 162.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・御常楽	1948	木版・紙	39.0 × 69.3
2	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・工匠舞	1949	木版・紙	39.0 × 69.0
3	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・五大尊舞	1944	木版・紙	69.3 × 39.0
4	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・烏遍舞	1944	木版・紙	69.3 × 39.0
5	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・駒舞	1943	木版・紙	69.3 × 39.0
6	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・烏舞	1943	木版・紙	69.3 × 39.0
7	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・神子舞	1949	木版・紙	39.0 × 69.0
8	勝平 得之	大日靈貴神社八部作・権現舞	1948	木版・紙	39.0 × 69.3
9	三村 治男	日が昇るころ	1982	木版・紙	24.0 × 56.0
10	三村 治男	杉木立（Ⅱ）	1995	木版・紙	37.0 × 56.0
11	三村 治男	残照	1989	木版・紙	23.0 × 56.0

◆関連記事

秋田魁新報 10/29、11/5
あきたタウン情報 12月号

iv もう見た！「松井如流 昭和を代表する書家一少字数書にいたる軌跡」

ピックアップアーティスト「松井如流」

会期：2010（平成22）年1月22日（金）～4月4日（日）

第1展示室（6階）：書（松井如流コレクション）①

第2展示室（6階）：書（松井如流コレクション）②

第3展示室（6階）：日本画名作選「冬―早春の風物詩」

担当：沼田 仁

第1展示室

◆もう見た！「松井如流 昭和を代表する書家」。ピックアップアーティスト：松井如流①

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
1	松井 如流	臨西狭頌	1930	紙本軸装	各175.0 × 65.0	1932 第1回東方書道会展・褒賞
2	松井 如流	杜甫 北征詩	1932	紙本軸装対幅	241.0 × 60.0	1932 第1回東方書道会展・銅賞
3	松井 如流	臨張遷碑	1933	紙本軸装	242.0 × 110.0	1933 第2回東方書道会展・銀牌
4	松井 如流	王維 藍田山石門精舍	1937	紙本軸装四幅	各 177.0 × 43.0	1937 第6回東方書道会展
5	松井 如流	黄龍赤烏	1949	紙本軸装	65.0 × 91.0	
6	松井 如流	寒山 詩	1950	紙本軸装対幅	各 129.0 × 68.0	1950 第6回日展
7	松井 如流	詩意満秋林(五言句)	1950	紙本軸装	137.0 × 69.0	

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
8	松井 如流	いくひらの雲	1956	紙本軸装	138.0 × 65.0	かな名作展
9	松井 如流	専心一意	1955	紙本屏風二曲一隻	136.0 × 137.0	1955 第 7 回毎日書道展
10	松井 如流	従心	1958	紙本屏風六曲一隻	138.0 × 408.0	
11	松井 如流	韋應物詩・石鼓歌	1958	紙本額装	222.0 × 80.0	1958 第 1 回新日展
12	松井 如流	屏跡・杜少陵詩	1963	紙本額装	200.0 × 68.0	1963 第 6 回新日展・日本芸術院賞
13	松井 如流	虚心坦懷	1959	紙本屏風二曲一隻	133.0 × 136.0	1959 第 2 回新日展
14	松井 如流	意先筆後	1965	紙本屏風二曲一双	各 138.0 × 69.0	1965 第 8 回新日展

第2展示室

◆もう見た！「松井如流 昭和を代表する書家」。ピックアップアーティスト：松井如流②

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
15	松井 如流	永	1962	紙本額装	138.0 × 210.0	1962 第 6 回東方書道院展
16	松井 如流	断	1965	紙本額装	138.0 × 138.0	1965 第 9 回東方書道院展
17	松井 如流	散	1966	紙本額装	138.0 × 138.0	1955 第 18 回毎日書道展
18	松井 如流	櫻寧	1966	紙本額装	65.0 × 91.0	1966 第 9 回新日展
19	松井 如流	知魚楽	1968	紙本屏風六曲一隻	136.0 × 388.0	1968 第 11 回東方書道院展
20	松井 如流	陸遊 舍北閑望	1977	紙本屏風六曲一双	各 137.0 × 69.0	
21	松井 如流	鳶飛魚躍	—	紙本屏風二曲一隻	138.0 × 65.0	
22	松井 如流	龍虎	1970	紙本組立椽	136.0 × 137.0	1970 第 14 回東方書道院展
23	松井 如流	古	1955	紙本額装	138.0 × 138.0	1968 第 20 回毎日書道展
24	松井 如流	妙	1980	紙本額装	67.0 × 69.0	1980 第 12 回改組日展
25	松井 如流	四海春	1958	紙本額装	136.0 × 68.0	1987 第 29 回東京書道会展
26	松井 如流	丹愚	1987	紙本額装	166.0 × 87.0	1987 第 19 回改組日展
27	松井 如流	よべの雨	—	紙本額装	63.0 × 95.0	東京書道会展

第3展示室

◆日本画名作選「冬—早春の風物詩」

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	出品歴
1	小田野直武	雷魚図	1770 年代	紙本着色軸装	25.0 × 28.5	
2	平福 百穂	柏樹	1930	紙本金彩襖2面	各 186.5 × 103.0	
3	平福 百穂	雪中南天雀	—	紙本着色軸装	33.5 × 56.8	
4	平福 百穂	江天暮雪	1927	紙本墨画軸装	137.5 × 45.0	
5	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893	絹本着色軸装	65.6 × 110.4	日本青年絵画協会第 2 回絵画共進会
6	寺崎 廣業	山谷冬里図	1917	紙本墨画六曲一双	各 151.5 × 352.0	
7	福田豊四郎	雪国	1968	紙本着色四曲一隻	186.7 × 255.6	1968 第 32 回新制作展
8	福田豊四郎	梅	1962	紙本着色額装	69.8 × 86.2	1962 第 5 回現代日本美術展
9	館岡 栗山	柴灯祭	1967	紙本着色額装	147.0 × 209.0	1967 第 52 回院展・入選
10	櫻庭藤二郎	奥入瀬遅春	1980	紙本着色額装	173.0 × 216.0	1980 再興第 65 回日本美術院展
11	高橋 清見	雪明かり	1995	紙本着色額装	180.0 × 223.0	1995 第 27 回改組日展
12	荘司 福	萌炎	1974	紙本着色額装	75.4 × 63.5	1974 第 6 回潮展

◆関連記事

秋田魁新報 2/4

読売新聞 2/9

教育普及事業

美術に対する理解を深めることができ、誰でもが気軽に利用できる親しみやすい美術館を目指して、講演会、美術館教室、美術館講座などを開催している。また、美術館事業に関する広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、美術館関係図書資料の提供や県内の美術情報の提供など、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動を行っている。また、「あきたセカンドスクール」の一環として、美術館における学校の学習活動を促進している。また、来館が困難な地域の学校を対象に「出前美術館」を行っている。なお、団体鑑賞者に対する作品解説や、解説員及び美術館ボランティアによる美術館案内・作品解説も実施している。

平成 2 1 年度美術館教室・ワークショップ一覧：参加者 1 9 3 人

No	教室の種別・内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者数	担当
1	ワークショップⅠ 「おやこDE イラストレーター」	5月2日(土) 5月3日(日)	幼児から中学生までと 保護者・先着 50組 (100人程度)	当館学芸員	半日 午後	40組 78人	檜尾 ・山本 ・小笠原
2	一般美術教室Ⅰ (油彩画) 「ムッシュ・Rの 絵画教室Ⅱ」	5月24日(日) 5月31日(日) 6月7日(日)	中学生以上 一般20人	佐々木良三 (国画会会員 ・秋田大学 名誉教授)	3	20人	沼田 ・小笠原
3	ワークショップⅡ (日本画) 「はじめての日本画」	6月14日(日) 7月12日(日)	中学生以上 一般15人	当館学芸員	2	15人	檜尾 ・山本
4	夏休み親子美術教室 「さかなをつくろう」	8月9日(日)	小学生と保 護者15組(30 人程度)	当館学芸員	1	15組 26人	小笠原 ・沼田
5	一般美術教室Ⅱ (彫刻) 「年輪をモチーフに して」	10月10日(土) 10月11日(日)	中学生以上 一般15人	岸上恭史 (秋田公立美術工 芸短期大学附属高 等学院教諭)	2	8人	小笠原 ・木村
6	親子美術教室 「X'masオーナメント をつくろう！」	11月29日(日)	小学生と保 護者15組(30 人程度)	当館学芸員	1	13組 24人	小笠原 ・木村
7	ワークショップⅢ (素描) 「デッサン教室Ⅱ」	2月7日(日)	中学生以上 一般20人	当館学芸員	1	22人	山本 ・檜尾

ワークショップⅠ「おやこDEイラストレーター」

五味太郎作品展「絵本の時間」の開催に合わせて実施した。あらかじめカラーインクを塗った紙を20種類ほど用意し、それをいろいろな形に切り取って台紙に貼り、動物をデザインするという内容である。5階の中央ホールの床に画板を置き、床に座っての活動となったが、ゆっくりとしたスペースをとることが出来て、参加者はくつろいだ雰囲気で作成していたように思う。動物のデザインについては、顔や表情の変化の付け方等作例を見ながら、各家族ごとにそれぞれイメージをふくらませ、時間いっぱい取り組む様子が見られた。

中央ホールでのワークショップは、オープンで気軽に参加できるような印象があるためか、様子を見てその場で参加を決めた親子がいた。また、エスカレーターで来館する他の入館者にも知ってもらいたい機会となっていると感じた。



(おやこ DE イラストレーター)

一般美術教室Ⅰ「ムッシュ・Rの絵画教室Ⅱ」

今回の絵画教室では、市松人形を題材に本格的な油彩画の技法を勉強した。講師は秋田大学名誉教授、国画会会員の佐々木良三先生にお願いした。3回の日程で完成させるため、用具や資料など細かく準備していただいた。初めに市松人形の輪郭をそのモノクロ原寸大のコピーから写し取りキャンバスにトレースする。その後、顔の部分に佐々木先生の調合による加筆用のニス塗ってから彩色し、徐々に陰影をつけていった。この教室のポイントは、油彩を描く上でも一般には使う機会が少ない4種類のニス・オイルをその目的やプロセスによって調合の割合を変えて描く他、筆もごく細いものを使うことにある。それにより参加者の皆さんは人形の肌の微妙な明暗や髪の毛の1本1本までリアルに描き上げていた。



(ムッシュ・Rの絵画教室Ⅱ)

ワークショップⅡ 「はじめての日本画～初夏の草花を描く～」

今年度は、2回連続のワークショップとし、1回目の写生と2回目の本画を独立した内容にして2日間で2枚の作品を制作した。

1回目は、生花を鉛筆で写生し、それを麻紙に写し取り、顔彩を使って着色し完成させた。じっくりものを見て線を意識しながら描くことや面相筆、隈取り筆の使い方などについて確認しながら進めたので、ていねいな仕上がりの作品が多かったように思う。それを掛け軸にして次の回に持参した参加者もいた。2回目は、岩絵の具やアクリル絵の具、マットメディウム等を使って花を描いた。昨年度と同様に当館の職員が撮影した花の写真を使用し、直接画面にトレースダウンする方法を進めた。画面サイズがハガキサイズで扱いやすいことやマットメディウムの利用により乾燥時間が短く着色の時間を十分とることが出来たので完成度の高い作品が多かった。お互いの作品を見合う時間も設けたので、それも良い刺激になったように思う。

中学生から70代の方まで幅広い年齢層の方が参加されたが、昨年と同様に参加申し込みが定員を超えるなど興味関心のある方が多いと感じた。



(はじめての日本画)

夏休み親子美術教室「さかなをつくろう」

毎年恒例の夏休み親子教室として企画した。木を材料にして立体作品を作ることを計画し、開催中の「中村征夫写真展」にちなんで、テーマを魚にした。木を磨いてできる滑らかな形を流線型の魚の形に見立て、



(さかなをつくろう)

木の魚を制作するというねらいである。桂の板に下書きした形を糸のこ盤で切り抜き、ヤスリで丸みを付ける。次に紙やすりで磨いて、ワックスで光沢を出し、別の木の台座に金属棒で固定した。形や複数の魚の組み合わせなど、それぞれに工夫が見られた。ヤスリで滑らかにするところなどは難しく、年齢の低い子どもには困難で、やや親の出番が多い点が課題と思われる。

一般美術教室Ⅱ 彫刻 (neoteny japan展ワークショップ) ～年輪をモチーフにして～

講師に岸上恭史氏（秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院教諭）を迎えた。開催中の「ネオテニー・ジャパン」展に合わせ、現代的な表現に触れてもらおうと企画した。岸上氏は木を繊維方向と直角に薄くスライスしたものを材料に立体作品を制作し、木の繊細さをユニークな方法で表現している。最初に講師の作品を参加者に紹介しながら、木の使い方について、弱い部分を積極的に利用するという講師の考え方を伝えた。次に講師が用意した薄い材料の板を年輪に沿って手で細かく割り、制作の準備を行った。初日は個人の立体作品を作り、二日目は全員で協力してレリーフ状の平面作品に取り組んだ。年輪の形の薄い材料を瞬間接着剤で固定し、壊れやすさに苦労しながらも、参加者は材料から触発されるイメージをそれぞれ作品にしていた。途中に参加者全員で企画展の鑑賞を行い、感想を交換しながら展覧会を楽しむことができた。



（年輪をモチーフにして）

親子美術教室「X'masオーナメントをつくろう」

年中行事にちなんだ親子教室として企画した。昨年とほぼじ手順で、木の板を糸のこ盤で切り抜き、ヤスリがけした後にアクリル絵の具で着色した。乾燥させながら複数の作品を上手く作り、工夫して創作を楽しんでいる家族が多く見られた。ヤスリがけがきれいに仕上がるように、材料は桂材を使用した。着色で木肌は隠れてしまうため、着色方法には課題が残る。教室に前後して、館内プレゼント用の木のオーナメントを学芸職員が作っており、寄せ木など試行錯誤した成果を今後の教室にも生かしていきたい。



（X'mas オーナメントをつくろう）

ワークショップⅢ「デッサン教室Ⅱ」

日本画家奈良裕功の素描・写生を紹介した展覧会にちなんで、筆と墨によるデッサン教室を開催した。裕功は明治期に画家を志したため、筆と墨を多用している。現代では墨で絵を描くことはそれほど一般的ではないし、日本画家が取り組んだ輪郭線を大切に描き方を体験するよい機会ととらえ、実施した。モチーフはカボチャ、リンゴ、ユキヤナギなど野菜と花類を用意した。

消具を使えない制約が参加者の描線に適度な緊張感をうみ、想像以上にモチーフの特徴をとらえることができたようである。初めて和紙に描いたことも墨の吸い込み、かすれの効果を充分楽しめたことだろう。墨で描画した後に顔彩で着色し、仕上げとした。

展示作品と連動したデッサン教室だっただけに、休憩中展示室を一巡した参加者もいて、展示作品の素晴らしさを再確認する機会にもなったと思う。



（デッサン教室Ⅱ）

美術館に響くマンドリンの音色

特別企画展「中村征夫写真展—命めぐる海—」開催記念

日 時：2009(平成 21)年 8 月 2 日(日) ①午後 1 時 30 分～
②午後 2 時 30 分～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：横手マンドリンクラブ

観覧者数：250 人

演奏曲目：服部良一作曲／青い山脈

J.Strauss 作曲／ラデツキー行進曲

成田為三作曲／浜辺の歌 ほか



秋のミュージアムコンサート トレ コンアモーレ

日 時：2009(平成 21)年 10 月 31 日(土) ①午後 1 時 30 分～
②午後 2 時 30 分～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：小野崎彰子氏（ソプラノ）、和泉かく子氏（ピアノ）、
萩田ヒサ子氏（マンドリン）

観覧者数：260 人

演奏曲目：A.Dvorak 作曲／わが母の教え給いし歌

H.C.Work 作曲／大きな古時計

金子みすゞ作詞、鈴木憲夫作曲／私と小鳥と鈴と ほか



冬のミュージアムコンサート 美術館に響く南米のリズム

日 時：2010(平成 22)年 2 月 20 日(土) ①午前 11 時 30 分～
②午後 1 時 30 分～

場 所：5 階中央ホール

出 演 者：秋田大学南米民族音楽サークル“La-mia”

観覧者数：104 人

演奏曲目：エンクエントロス

コンドルは飛んでいく

アンデスの夢 ほか



美術講座・美術講演会

中村征夫写真展「命めぐる海」ギャラリートーク

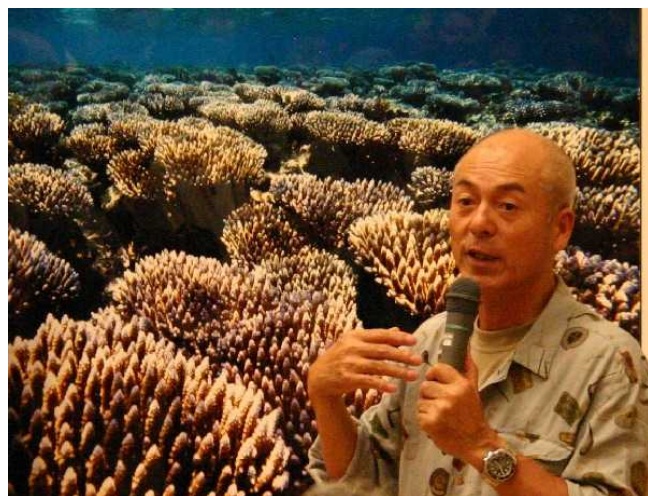
講師：中村征夫氏

日時：2009（平成21）年7月4日（土）午後2時～

会場：5階展示室

参加者：264名

秋田県潟上市出身の水中写真家・中村征夫氏の特別企画展を記念して、開催初日に中村氏自身が作品を解説するギャラリートークを行った。これまで78カ国の海に潜った経験をもとに海の魅力や環境保護について熱く語った。秋田県周辺の海ではハタハタの産卵場所である藻場が減少していることについて、私たちの自然に対する謙虚な気持ちを忘れないことと、日々の生活排水を減らすなどの心がけを大切にしてほしいと呼びかけた。その後行われたサイン会は、100名以上の長蛇の列となったが、一人一人にイラスト入りサインのほかに、握手や記念撮影に気軽に応じてくれたのが印象的だった。



「neoteny japan—高橋コレクション」

内覧会・出展作家ギャラリートーク

講師：秋山さやか氏、加藤泉氏、鴻池朋子氏、村山留里子氏

期日：2009（平成21）年9月18日（金）午後2時～

会場：5階中央ホール～5階展示室～B1エントランスホール

参加者：61名

特別企画展開催前日のイベントとして初めて企画した。関係者、報道機関などの招待に加え、一般からの参加も受け付けている。平日にもかかわらず多くの観覧者があり、現代美術展への関心の高さがうかがえた。中央ホールで河野館長、内田真由美氏（企画者）のあいさつの後、展示室へ移動してギャラリートークを行った。広報の上でも効果が大きかったと感じる。観客も間近で話を聞き、質問や感想をやりとりできたことは大変貴重な機会だった。



鴻池朋子アーティストトーク

講師：鴻池朋子氏

期日：2009（平成21）年9月19日（土）午後2時～

会場：6階研修室

参加者：71名

秋田市出身で活躍中の現代美術作家、鴻池朋子氏のトークを「neoteny japan—高橋コレクション」開催初日に行った。東京で開催された個展の準備映像や過去の作品画像を見ながら鴻池氏が説明し、会場のインスタレーションの過程など興味深い話を聞くことができた。展示には様々な専門家が関わり、大がかりな仕事であることが分かる。観客から作品に対する質問もなど活発に投げかけられ、作家との交流を深められた。トークの終わりにはサイン会も行われ、鴻池氏は作品におなじみの「オオカミ」や「ミミオ」をサインと一緒に描き込み、作品集を手にしたお客さんにも満足していただけたと思う。



高橋龍太郎ギャラリートーク

講師：高橋龍太郎氏（精神科医・医療法人こころの会理事長）

期日：2009（平成21）年10月18日（日）午後2時～

会場：5階展示室～B1エントランスホール

参加者：71名

特別企画展「neoteny japan —高橋コレクション」開催に合わせ、本展の企画者、作品所有者である高橋龍太郎氏によるギャラリートークを開催した。高橋氏は医療法人こころの会理事長を務め、地域精神医療に取り組みながら、著書を多数出版し、また現代アートコレクターとしても知られている。1997年より日本の若手アーティストの作品を中心に収集してきた「高橋コレクション」の総数は1000点以上におよぶ。デビュー時の作品が多いとはいっても、作家のその後の活躍を見れば、これだけのコレクションを形成できたことには驚きを感じる。トークでは展示室を移動しながらそれぞれの作品についての思い出などを聞くことができた。作品購入の話には日本の現代アートが海外流出しないようにという高橋氏の情熱が伝わってきた。そのほか作品保管の苦労話など、笑いを交えながら語られ、現代美術に親しめる楽しい時間を持つことができた。



山口晃アーティストトーク

講師：山口晃氏

期日：2009（平成21）年11月3日（火・文化の日）午後2時～

会場：6階研修室

参加者：121名

山口晃氏はテレビにもたびたび登場し、地元新聞の連載小説の挿絵を担当していたこともあり知名度が高い。トークには、早いうちから続々と申込が入り、当初100人の予定だった枠を拡大した。当日は11月にもかかわらず雪模様だったがキャンセルも少なく、会場は満員となった。山口氏はホワイトボードに絵を描きながら話すというのが得意のスタイルで、落語の語り口を思わせるトークに、会場は笑いに包まれた。笑いの中にも時折発せられる鋭い意見は山口氏の作品のちみつな描写に通じるものを感じる。また会場からの質問にはとても丁寧に答え、突然お願いしたサイン会にも快く応じていただき、温かく真面目な人柄がうかがえた。



美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭館長が美術館講座として「平安後期の美術」を8回実施した。また、秋田市の秋田県生涯学習センターを会場に、館長が講座を3回実施した。詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」－平安後期の美術－

講師 河野元昭館長

全8回、登録受講者数 70名、延べ受講者数 294名（6F 研修室）

- ① 5月24日 阿弥陀三尊像(平等院鳳凰堂)と九体阿弥陀如来像(浄瑠璃寺)
- ② 6月21日 山水屏風(京都国立博物館)
- ③ 7月26日 応徳涅槃図(金剛峰寺)と釈迦金棺出現図(京都国立博物館)
- ④ 9月27日 孔雀明王像(東京国立博物館)と普賢菩薩像(東京国立博物館)
- ⑤ 10月25日 源氏物語絵巻(徳川美術館・五島美術館)
- ⑥ 11月29日 信貴山縁起絵巻(朝護孫子寺)と伴大納言絵詞(出光美術館)
- ⑦ 1月24日 餓鬼草紙(東京国立博物館)と鳥獣戯画(高山寺)
- ⑧ 2月21日 平家納経(厳島神社)と中尊寺経(中尊寺)

◇県生涯学習センター（美の国れんけいカレッジ）

まるごと！Artゼミ 「新発見再発見江戸絵画の傑作」

講師 河野元昭館長

全3回、延べ受講者数 139名

- ① 6月 5日 菱川師宣筆「風俗図巻」
- ② 7月10日 伊藤若冲「象鯨図屏風」
- ③ 8月 7日 与謝蕪村「陽城・胡瑗図屏風」



美術館ボランティア (AMC ‘アムック’ Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づき導入され、その活動を通して各自が学習し、その成果を実践に移すことを目標にすると共に、県民と美術館の懸け橋として、より多くの人々に親しまれる身近で開かれた美術館作りを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)以上の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。新会員に対しては事前研修終了後、実際の活動に入ってもらった。活動内容は、案内受付活動、資料整理・印刷物の発送準備作業など事務補助活動、野外彫刻作品の清掃などの他、会員への毎月の会報作成や、他県美術館における研修なども行っている。

◆会員数・活動内容

1 会員数 89 名

2 活動内容

① 案内受付活動

- i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)
 - ・身障者、老人、子供対応
 - ・団体の整理、誘導
 - ・非常時の誘導
- ii 美術鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
- iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク)、ワークショップ等への参加

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

◆おもな関連行事

- ① 鑑賞学習会(企画展5本、コレクション展4本で各1～2回)
- ② 役員会(13回)
- ③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ④ 研修旅行(6/11,12 世田谷美術館,東京都美術館,10/4 十和田市現代美術館)
- ⑤ 交流会(7/4 ,11/29 当館7階展望ラウンジ)
- ⑥ 新会員研修講座(随時)
- ⑦ 総会(3/14)

博物館実習

期間：2009(平成21)年9月14日(月)～19日(土) 6日間

実習生所属大学及び人数

岩手大学 1 名 東北芸術工科大学 2 名
富山大学 1 名 明治学院大学 1 名 計 5 名

◆実習内容

期 日	実 習 内 容
9月14日(月)	オリエンテーション、施設・設備の見学、教育普及事業(造形活動)に関する実習1
9月15日(火)	収蔵品の展示に関する実習、コレクション展鑑賞、教育普及事業(鑑賞教育)に関する実習2
9月16日(水)	野外彫刻の保存管理及び点検洗浄実習、特別企画展展示作業見学、作品の取扱いと保存・修復に関する実習1
9月17日(木)	作品の取扱いに関する実習、秋田蘭画作品鑑賞、特別企画展作業見学(作家による展示作業)
9月18日(金)	作品の取扱いと保存・修復に関する実習2、特別企画展内覧会参加、出展作家によるギャラリートーク参加
9月19日(土)	教育普及事業(造形活動)に関する実習3、秋田ふるさと村見学、鴻池朋子アーティストトーク参加、実習反省会

ハイビジョンソフトウェア制作

ハイビジョンギャラリーでは、所蔵品及び世界の名品を高精細大型映像で鑑賞することと、所蔵品の画像や解説等の情報を自由に検索することができるが、そのためのソフトウェアを制作している。

◆静止画番組のタイトル

◇ 2009（平成 21）年度制作なし

◇ 2008（平成 20）年度までの制作（23 タイトル）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 時代の先駆者 平福穂庵 | 13 昭和の書家 松井如流 悠久の美 |
| 2 気韻生動の画家 平福百穂 | 14 横山津恵 清新な美の軌跡 |
| 3 福田豊四郎 新日本画をめざして | 15 近代日本画の巨匠 寺崎広業 |
| 4 自然と人間への憧憬 福田豊四郎 | 16 魂との対話 高田博厚 |
| 5 勝平得之 木版画の世界 雪国の風俗 | 17 佐々木英一 彩切貝・蒔絵の小宇宙― |
| 6 洋風画の泰斗 小田野直武 近代の予兆 | 18 光と風の中で―彫刻の四季― |
| 7 所蔵日本画名作撰 | 19 小西正太郎 画家と女神たち |
| 8 所蔵彫刻名作撰 彫刻への誘い | 20 ようこそ美術館へ！ |
| 9 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅰ | 21 秋田洋画壇の先駆者たち |
| 10 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅱ | 22 馬場彬 僕のグレーこそ美しい |
| 11 勝平得之 木版画の世界 豊作への歩み | 23 伊藤弥太 あくなき絵画の求道者 |
| 12 鍛金の巨匠 関谷四郎 | |

◆購入ソフト

- 1 美術のたのしみ（10 タイトル）
- 2 エルミタージュ美術館Ⅰ・Ⅱ（20 タイトル）
- 3 オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ（18 タイトル）
- 4 フィレンツェ・ルネサンスⅠ（8 タイトル）
- 5 日本で見られる 19 世紀フランス美術（20 タイトル）
- 6 パリで見られる 19 世紀フランス美術（10 タイトル）
- 7 印象派展覧会（8 タイトル）
- 8 連作の地力（12 タイトル）
- 9 都市の表情（4 タイトル）
- 10 日本絵画の至宝 絵画編 第 2 巻（30 タイトル）

◆所蔵品データベース

平成 21 年度入力 0 点
平成 20 年度までの入力 1075 点

※平成 17 年度に上記ハイビジョンソフトを有効活用すべく、大幅なハイビジョン機器システムの更新を完了した。

出前美術館

「出前美術館～ARTが学校にやってくる！」

会期：2009年9月28日～30日、10月1日～2日

主催：秋田県立近代美術館、能代市教育委員会

会場：能代市立第五小学校、能代市立常盤小学校・中学校

担当：三浦直、沼田仁、桎尾康子

参加者(児童・生徒・教員・一般)：737名

どこの学校でも芸術作品による鑑賞体験ができるようにと、来館が難しい学校にはこちらから出向いて展覧会を実施している。この事業は今年で5年目を迎え訪問校も12校を数えるまでになり、今年は9月28日から10月2日までの5日間にわたり能代市の3校1施設で実施した。最初の第五小学校では1年から6年生まで鑑賞・体験授業の他、保護者の方々、近隣の小学校、幼稚園からの参加もあり、続く常盤小・常盤中学校、常盤交流センターでも鑑賞授業の他に近隣保育園等から多数遊びに来てくれた。同校では東北へき地教育研究大会の公開授業も行われ県内外の教員の皆さんには作品鑑賞の思わぬ貴重な機会となったようである。いずれの実施校でも子供たちの驚きの声があり、先生方から喜んでもらえた出前美術館であった。



◆関連記事

秋田魁新報 9/29

北羽新報 9/29

ネットワーク事業 (共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館、秋田県埋蔵文化財センター) 昭和を代表する書家・松井如流

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会期：2010年1月12日(火)～2010年2月28日(日) 47日間(休館日2月1日)

展示作品 書作品 15点、硯、ミニチュア盾、著作物、作品集など

関連事業 ふるさとセミナー 昭和を代表する書家 松井如流(県立近代美術館所蔵作品から)

会場／日時 秋田県立図書館3階多目的ホール 2010年1月27日(水)13:30～15:00

参加者 50名

担当：三浦 直・沼田 仁

入場者数 3,699人

埋蔵文化財センターの出張展示

「横手盆地の亀ヶ岡文化」

会期：2009(平成21)年10月10日(土)～11月1日(日)

会場：ふれんどリーギャラリー

埋蔵文化財センター平成21年度第2回企画展「亀ヶ岡文化―縄文造形の華―」の予告展示として、湯沢市堀ノ内遺跡の出土品を中心に、同センターの所蔵遺物を県立近代美術館のふれんどリーギャラリーで公開した。

第45回横手地区高校美術展・冬期展

会期：2010(平成22)年2月4日(木)～12日(金)

会場：ふれんどリーギャラリー

主催：横手地区高校美術連盟(事務局校：横手清陵学院高等学校)

参加校：平成高校、増田高校、雄物川高校、横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校

展示作品：絵画14点、デザイン61点

当館と共催で横手地区の高校美術部員による展覧会を行った。絵画はF30以下、デザインはB2以下のサイズを規定して募集している。展示が窮屈になってしまったことは反省点だが、高校生と引率教諭たちと協力して行った展示作業では交流が深まり、作業後の生徒が館内企画展、コレクション展の鑑賞を行ったことはお互いにより機会だった。展示や広報の計画を練っていけば、今後も意義のある企画になっていくのではないだろうか。

美術館のセカンドスクールの利用

◆概況

	セカンドスクールの利用					総利用 学校数	総利用 人 数
	幼・保園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校		
4月	0	0	0	1	0	1	13
5月	1	13	8	1	0	22	981
6月	5	20	0	0	0	25	1,054
7月	0	8	4	0	0	12	254
8月	0	2	1	0	1	3	182
9月	1	9	2	0	1	13	610
10月	3	8	1	2	3	17	885
11月	0	4	1	0	1	6	318
12月	0	1	0	0	0	1	7
1月	0	0	1	1	0	2	91
2月	0	1	2	0	0	3	37
3月	0	0	0	1	0	1	9
合計	10 園 (375人)	66校 (2,699人)	20校 (693人)	5校 (111人)	5校 (563人)	106 校・園 *のべ数	4,441人
総計	平成21年度	106校 (4,441人)				幼・保 10 園	375 人
	平成20年度	62校 (2,957人)				〃 5園	144人
	平成19年度	91校 (3,739人)				〃 7園	287人
	平成18年度	104校 (3,845人)				〃 7園	355人
	平成17年度	135校 (5,095人)				〃 12園	638人
	平成16年度	143校 (4,666人)				〃 16園	633人
	平成15年度	97校 (3,519人)				〃 3園	280人

◆利用校

平成21年度セカンドスクール利用校一覧

河辺小学校	仙南西小学校	湯沢市横堀小学校	県立盲学校
御所野小学校	横手南小学校	西馬音内小学校	横手養護学校
飯田川小学校	黒川小学校	三輪小学校	稲川養護学校
追分小学校	金沢小学校	元西小学校	秋田大学附属特別支援学校
岩谷小学校	増田小学校	田代小学校	秋田中央高等学校
大曲小学校	吉田小学校	仙道小学校	酒田西高等学校
花館小学校	醍醐小学校	東成瀬小学校	西目高等学校
大川西根小学校	雄物川北小学校	大館市立第一中学校	ごしよの保育園
四ツ屋小学校	福地小学校	常盤中学校	城南園
神宮寺小学校	大森小学校	将軍野中学校	角館西保育園
刈和野小学校	十文字第一小学校	五城目第一中学校	南外保育園
大沢郷小学校	睦合小学校	中仙中学校	上宮第一幼稚園
清水小学校	田根森小学校	金沢中学校	上宮第二幼稚園
豊岡小学校	湯沢市院内小学校	横手南中学校	三重保育所
太田南小学校	小野小学校	平鹿中学校	(出前美術館)
南檜岡小学校	中山小学校	山田中学校	能代市立第五小学校
六郷小学校	三関小学校	三輪中学校	東能代幼稚園竹生小学校
六郷東根小学校	山田小学校	高瀬中学校	常盤小学校 常盤中学校
仙南東小学校	湯沢東小学校	羽後中学校	常盤保育所 轟保育園

◆領域

・図工科、美術科、生活科、社会科等の各教科、総合的な学習の時間および特別活動

◆内 容

- ・企画展・コレクション展の作品鑑賞(鑑賞用シート等の利用)
- ・野外彫刻の鑑賞・美術館「探検」
- ・土粘土作り、木で作る川原の石、ローラーで描く大きな絵、粘土による制作、企画展にちなんだ製作 等
- ・インターンシップ、ボランティア活動

◆出前美術館

学校に出向いて行う「出前美術館(出前セカンドスクール)」は、本年度で5回目となる。

絵画、彫刻、版画、工芸作品のほか、遊びながら造形に親しむことができる木製遊具も展示した。各開催校近隣の小学校、幼・保園からの積極的な参加もあった。

①能代市立第五小学校 9月28日・29日・30日 SS 280人＋保護者等 44人

②能代市立常盤小学校
常盤中学校 10月1日・2日 SS 209人＋保護者等 204人

収集事業
美術品収集

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

◆美術品等収集状況(平成21年度末まで)

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管替	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	225	31	164	166	586
洋 画	56	148	142	70	416
版 画	11	34	93	69	207
彫 刻	125	12	20	5	162
工 芸	29	1	7	1	38
書	13	7	231	2	253
デ ザ イ ン	0	0	2	6	8
写 真	2	0	1	0	3
素描・下絵・資料等	15	0	144	12	171
合 計	482	233	806	337	1858

◆2009(平成21)年度収集

種 別	県美術品取得基金	寄 贈	他施設から所管換	合 計
日 本 画	1	0	0	1
洋 画	5	10	0	15
版 画	0	1	0	1
彫 刻	1	0	0	1
書	0	52	0	52
写 真	1	1	0	2
素描・下絵・資料等	0	4	0	4
合 計	8	68	0	76

①県美術品取得基金による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	寺崎廣業	春秋図	1905	紙本着色・襖絵10面	各167.0×108.0ほか
2	洋画	高橋 功	コスモス・2	2004	油彩・木	54.8×51.0
3	洋画	高橋 功	コスモス・3	2004	油彩・木	54.9×51.0
4	洋画	高橋 功	十字架/白(うす青)	2002	油彩・木	81.0×66.0
5	洋画	高橋 功	キサカタに雲と稲妻/黄	2002	油彩・木	41.1×45.0
6	洋画	高橋 功	秋田の冬	2004	油彩・木	58.0×41.7
7	彫刻	安藤 泉	翠の風	1998	銅・ステンレス	H238.0×W235.0×D110.0
8	写真	千葉禎介	写真一括(20点)	1940 -60年代	ゼラチンシルバープリント	17.5×26.6ほか

②寄贈による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	洋画	山脇佐久子	位相・空間 '95-1	1995	油彩・キャンバス	162.0×194.0
2	洋画	山脇佐久子	無への位相 '96-1	1996	油彩・キャンバス	194.0×162.0
3	洋画	山脇佐久子	拡張 2-8	1997	油彩・キャンバス	182.0×227.0
4	洋画	山脇佐久子	拡張へ 98-1	1998	油彩・キャンバス	182.0×227.0
5	洋画	山脇佐久子	拡張へ 98-2	1998	油彩・キャンバス	182.0×227.0
6	洋画	山脇佐久子	拡張へ 98-3	1998	油彩・キャンバス	182.0×227.0
7	洋画	山脇佐久子	拡張へ 98-4	1998	油彩・キャンバス	182.0×227.0
8	洋画	伊藤博次	九月の風景	1978	油彩・キャンバス	91.0×116.7

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
9	洋画	伊藤博次	空と海と砂と・・・	1983	油彩・キャンバス	100.0×100.0
10	洋画	伊藤博次	遊 翔	1993	油彩・キャンバス	162.0×80.3
11	版画	高橋甲子男	銅版画 玄山水十図	2009	10枚組 紙	各36.0×30.0
12	書	大井錦亭	睦 鄰	2008	紙・墨 額装	129.5×68.0
13	書	大井錦亭	七言律 金蕉兩山	2008	紙・墨 屏風	137.0×51.5
14	書	大井錦亭	七言律 遊金山寺	2008	紙・墨 屏風	136.0×53.0
15	書	大井錦亭	自詠六句	2008	紙・墨 額装 6点	127.5×97.5
16	書	大井錦亭	龍行虎歩	2008	紙・墨 額装 4点	166.0×153.0
17	書	大井錦亭	冬日歸舊山	2008	紙・墨 屏風	136.0×35.0
18	書	大井錦亭	伊藤左千夫歌	2008	紙・墨 額装10点	233.0×52.0
19	書	大井錦亭	翰墨游戲	2008	紙・墨 額装 2点	135.0×67.0
20	書	大井錦亭	自詠ふるさと	2008	紙・墨 額装	103.0×134.0
21	書	大井錦亭	張海詩	2008	紙・墨 額装	209.0×68.5
22	書	大井錦亭	趙長青詩	2008	紙・墨 額装	210.0×69.0
23	書	大井錦亭	蔡祥麟詩	2008	紙・墨 額装	209.0×69.0
24	書	大井錦亭	寂 静	2008	紙・墨 額装	69.5×35.0
25	書	大井錦亭	燦 然	2008	紙・墨 額装	45.0×132.5
26	書	大井錦亭	玄之又玄	2008	紙・墨 額装 4点	137.0×68.0
27	書	大井錦亭	田家雜興	2008	紙・墨 額装11点	234.0×52.0
28	書	大井錦亭	一郷尊齒徳百歳祝寿康	2008	紙・墨 屏風	137.5×68.5
29	書	大井錦亭	柏葉寿	2008	紙・墨 額装	226.5×80.5
30	書	大井錦亭	田家語 梅堯臣詩	2008	紙・墨 額装 8点	233.5×52.0
31	書	大井錦亭	かな八首	2008	紙・墨 軸装 8点	136.0×35.0
32	書	大井錦亭	飛	2008	紙・墨 額装	166.0×153.5
33	書	大井錦亭	嘉福 成基	2008	紙・墨 額装 2点	137.0×68.0
34	書	大井錦亭	五言律「晴」(唐)杜甫	2008	紙・墨 額装 8点	137.5×34.0
35	書	大井錦亭	舒 逸	2008	紙・墨 額装	69.6×35.0
36	書	大井錦亭	寛 猛	2008	紙・墨 額装	69.0×35.0
37	書	大井錦亭	無量寿	2008	紙・墨 額装 3点	136.0×67.0
38	書	大井錦亭	新 晴 (宋)陸游	2008	紙・墨 額装 5点	137.0×67.0
39-48	書	大井錦亭	自運作品 <10作品>	2008	紙・墨 額装10点	136.0×35.0
49-63	書	大井錦亭	臨書作品 <15作品>	2008	紙・墨 額装15点	135.8×34.5
64	写真	南 利夫	写真一括「秋田杉と職人たち」	—	印画紙・パネル188点	36.5×53.0ほか
65	資料	—	帝国美術院美術展覧会図録ほか	—	82冊	—
66	資料	大久保鐵作	天樹院佐竹義和公	—	1冊	—
67	資料	奈良裕功	写生帖1冊、帯2本、風呂先屏風	—	屏風2曲1隻	—
68	資料	横山津恵	制作覚書、デザインメモ	—	ノート7冊	—

図書資料分類冊数一覧 2010(平成22)年3月31日現在

分 類	平成21年度新収図書	分類別合計
一般図書		
美術総記	56	1,444
日本美術	6	2,551
西洋美術	1	670
東洋、その他の美術	0	166
秋田資料	3	563
関係諸学	2	795
所蔵品図録、研究報告、年報	236	2,978
展覧会図録	174	6,014
美術雑誌他	122	6,315
	600	21,496

調査・研究

三浦直

講座「みんなで創る観光まちづくり実践塾」秋田県南部男女共同参画センター、2010年1月29日
講座「昭和を代表する書家松井如流」秋田ふるさとセミナー 秋田県立図書館、2010年1月27日
作品解説「ギャラリートーク 中村征夫写真展 命めぐる海」『秋田魁新報』、2009年7月2日
作品解説「墨のある風景 平福百穂 春山」『趣味の水墨画』、2010年3月15日

沼田仁

作品解説「ギャラリートーク 梅津祐司」秋田魁新報 2009年7月16日
講座「昭和を代表する書家松井如流」秋田ふるさとセミナー 秋田県立図書館、2010年1月27日
作品解説「ギャラリートーク 松井如流」秋田魁新報 2010年2月4日

桎尾康子

資料作成「伊藤博次年譜」『秋田美術No.46』秋田県立近代美術館、2010年3月19日、pp46-52
作品解説「ギャラリートーク 五味太郎作品展 [絵本の時間]」秋田魁新報 2009年4月30日
作品解説「ギャラリートーク 伊藤博次 上」秋田魁新報 2009年10月29日
作品解説「ギャラリートーク 伊藤博次 下」秋田魁新報 2009年11月5日

山本文志

作品解説「平福百穂 法然上人」「福田豊四郎 秋田のマリヤ」『日本の美術館名品展』(展覧会カタログ)、美術館連絡協議会、2009年4月、p185,p203
講座「地方画人の系譜」、秋田市泉地区コミュニティーセンター(秋田市)、2009年6月9日
実技講座「水彩画教室」、仙北教育会館(大仙市)、2009年7月30日
講座「近代日本画の巨匠たち」、秋田市中通児童館(秋田市)、2009年8月28日
作品解説「福田豊四郎 雪国」『日本の美IV 日本の四季 秋冬』、美術年鑑社、2009年8月21日、pp134-135
ワークショップ『世界における江戸学の現在 18世紀を中心にー江戸時代におけるナショナリズムの表現』・研究報告「秋田蘭画をめぐる、未着手の文化的背景」、法政大学(東京)、2009年9月9日-10日
講座「秋田蘭画」、小坂町交流センターセパーム(小坂町)、2009年9月15日
対談「秋田蘭画の謎を語る」、第10回歴史と文化フォーラム「秋田蘭画の近代」小田野直武・佐竹義躬生誕260年記念講演&トーク、学習院女子大学教授今橋理子氏、角館町樺細工伝承館(仙北市)、2009年9月20日
講座「近代日本画の巨匠たち」、由利本荘市西目公民館(由利本荘市)、2009年10月9日
論文「小田野直武の洋風画一落款にみるその成立と制作期間についての考察」、鹿島美術研究(年報第26号別冊)、2009年11月15日、pp108-119
実技講座「水彩画教室」、秋田県立雄物川高校(横手市)、2009年11月10,17日
実技講座「水彩画教室」、羽後町コミュニティーセンター(羽後町)、2009年11月25日
作品解説「ギャラリートーク 奈良裕功素描展上」『秋田魁新報』、2009年12月3日
作品解説「ギャラリートーク 奈良裕功素描展下」『秋田魁新報』、2009年12月10日
講座「秋田蘭画」、本荘文化会館(由利本荘市)、2009年12月17日
講座「近代日本画の巨匠たち」、湯沢勤労青少年ホーム(湯沢市)、2010年1月20日
論考「時有幽花 奈良裕功素描展」『秋田美術 No.46』(紀要)、秋田県立近代美術館、2010年3月19日、pp12-36
資料作成「奈良裕功年譜、関係文献目録」『秋田美術 No.46』(紀要)、秋田県立近代美術館、2010年3月19日、pp37-45

小笠原宏

論考「高校生の美術鑑賞の推進についてー西目高校芸術鑑賞の事例から」『秋田美術 No.46』(紀要)、秋田県立近代美術館、2010年3月19日、pp7-11
作品解説「ギャラリートーク ネオテニー・ジャパン上」秋田魁新報 2009年9月3日
作品解説「ギャラリートーク ネオテニー・ジャパン中」秋田魁新報 2009年9月10日
作品解説「ギャラリートーク ネオテニー・ジャパン下」秋田魁新報 2009年9月17日
作品解説「ギャラリートーク Touch it! 手でみる彫刻展上」秋田魁新報 2010年2月25日
作品解説「ギャラリートーク Touch it! 手でみる彫刻展下」秋田魁新報 2010年3月4日
作品解説「Touch it! 手でみる彫刻展」河北新報 2010年3月11日

木村雅洋

作品解説「ギャラリートーク 佐々木裕久上」秋田魁新報 2009年4月16日
作品解説「ギャラリートーク 佐々木裕久下」秋田魁新報 2009年4月23日

佐々木洋

資料作成「2009年県内美術展開催一覧(1～12月)」『秋田美術No.46』秋田県立近代美術館、2010年3月19日、pp53-58

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名・会期ほか
1	倉田松濤	「風俗図屏風」	平福記念美術館	2/1 ～ 4/30	没後 80 年倉田松濤展
2	〃	「山水図」			2/14 ～ 4/5
3	〃	「アイヌ図」			
4	〃	「花鳥図」			
5 ～ 25	藤田嗣治	「なまず」 他計 21 点	(財)平野政吉美術館	2/9 ～ 9/18	藤田嗣治作品展
26 ～ 27	小田野直武	「富嶽図」	府中市美術館	2/24 ～ 5/31	山水に遊ぶ－江戸絵画の風景 250 年展
	〃	「岩に牡丹図」			3/20 ～ 5/10
28	勝平得之	「秋田風俗十題(いろり)」	秋田県立博物館	3/18 ～ 7/24	白岩焼展 3/18 ～ 7/24
29	〃	「秋田風俗十題(はり)」			
30	福田豊四郎	「秋田のマリヤ」	東京都美術館	3/25 ～ 7/31	日本の美術館名品展
31	平福百穂	「法然上人」			4/25 ～ 7/5
32 ～ 36	荘司福	「秋立つ」 他計 5 点	神奈川県立近代美術館	3/29 ～ 6/27	荘司福展 4/11 ～ 6/14
37	横山津恵	「珊瑚礁(V)」	国際教養大学	5/27 ～ 8/26	学内展示
38	〃	「珊瑚礁(VII)」			
39	小野崎大凌	「鶉」	平福記念美術館	6/1 ～ 7/29	歿後 65 年小野崎大凌展
40	〃	「蓬莱山水」			6/7 ～ 7/26
41	〃	「清麿八幡宮参詣途次」			
42	〃	「秋草小禽」			
43 ～ 47	寺崎廣業	「瀟湘八景(山市青嵐)」	平福記念美術館	7/27 ～ 11/11	現代ヨーロッパ絵画展
		他計 5 点			8/1 ～ 11/8
48	樫尾直	「ある風景'92 I」	国際教養大学	8/26 ～ 11/24	学内展示
49	〃	「ある風景'92 II」			
50 ～ 83	藤田嗣治	「ユキ」 他計 34 点	(財)平野政吉美術館	9/17 ～ 10,3/10	藤田嗣治作品展
84 ～ 88	小田野直武	「不忍池図」 他計 5 点	平福記念美術館	10/1 ～ 11/11	秋田蘭画とその周辺展
					10/3 ～ 11/8
89	寺崎廣業	「天平美人」	奈良県立美術館	10/14 ～ 10,1/17	神話～日本美術の想像力～
					10/24 ～ 12/24
90	鐙木清方	「松と梅」	サントリー美術館	11/1 ～ 10,1/15	清方/Kiyokata ノスタルジア江戸の粋
91	〃	「秋の夜」			を愛した日本画家 11/18 ～ 11,1/11
92	大井錦亭	「自詠ふるさと」	県青少年交流センター	12,1 ～ 10,11/30	館内展示
93	伊藤博次	「うみとすなと」	国際教養大学	10,2/24 ～ 10,8/31	学内展示
94	〃	「折れた葦・・・I」			
95	伊藤彌太	「北国の街(その2)」	県立図書館	10,3/1 ～ 11,2/28	館内展示
96	〃	「風景III」			
97	平福百穂	「神語」	愛知県美術館	10,3/23 ～ 10,6/4	小川芋銭と珊瑚会の画家たち
98	〃	「法然上人」			10,4/9 ～ 5/23

刊行物

◆ARK(アーク、秋田県立近代美術館ニュース)

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年4回発行している。「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変し、発行を年2回とした。

No.58 2009年11月30日発行 A3 二つ折り 4頁

展覧会レポート：「五味太郎作品展 絵本の時間」、「中村征夫写真展 命めぐる海」

トピックス：一般美術教室報告「ムッシュRの絵画教室Ⅱ」、「はじめての日本画」、出前美術館、

セカンドスクール、平成21年度上半期レポート、インフォメーション

No.59 2010年3月31日発行 A3 二つ折り 4頁

展覧会レポート：「neoteny japan 展－高橋コレクション－」

トピックス：ギャラリートーク、アーティストトーク、セカンドスクール

平成21年度下半期レポート、インフォメーション

◆秋田美術 第46号 2009年3月27日発行 A4 58頁

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆展覧会図録・パンフレット

平成22年度行事案内リーフレット

2010年3月発行 A4 2頁

入館状況

平成 21 年度 月別入館者数

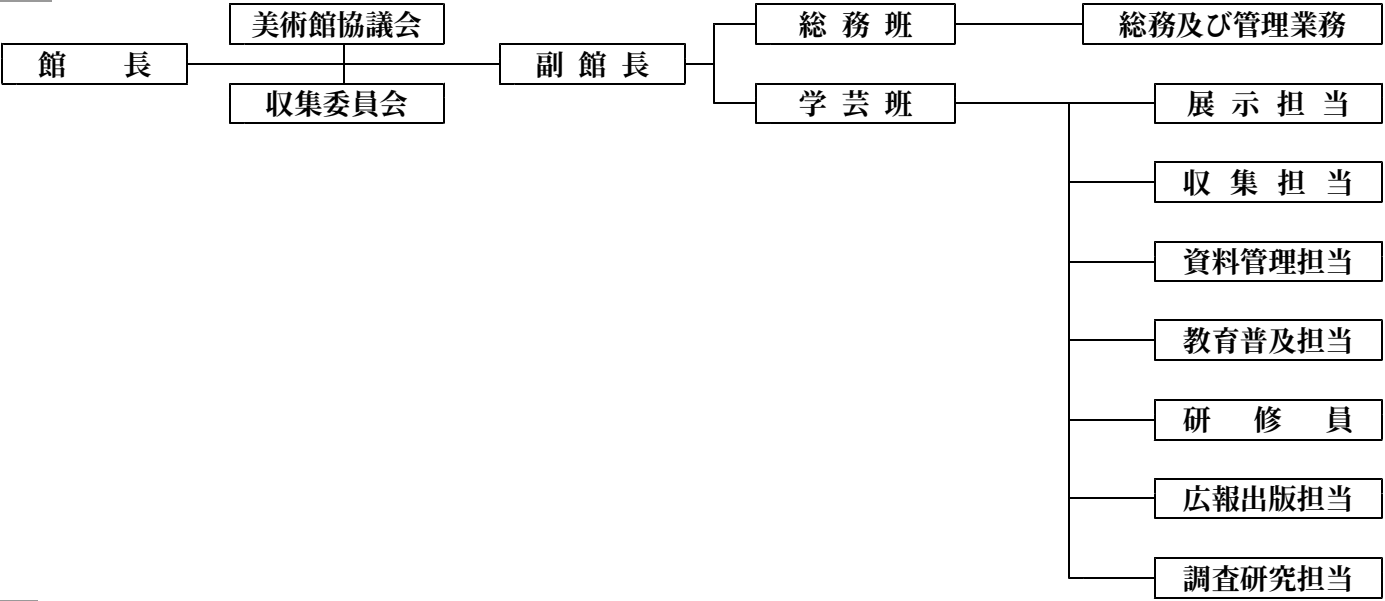
月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	合計
入館者数（人）	3993	11913	5584	6359	12451	12686	7184	7044	1731	3871	5101	4022	81939

利用者数一覧表

事業別			入館者	特別企画展入場者				企画展入場者				常設展のみ
				五味太郎作品 展「絵本の時 間」	中村征夫写真 展「命めぐる 海」	neoteny japan 高橋コレクション	計	福田豊四郎の デッサン力展 ※2/7～	奈良裕功・ 素描展	Touch It! 手でみる 彫刻展	計	
区分												
開催期間			4/1(火)～ 3/31(月)	4/25(土)～ 6/28(日)	7/4(土)～ 9/6(日)	9/19(土)～ 11/29(日)		4/1(水)～ 4/19(日)	12/5(土)～ 2/15(月)	2/20(土)～ 3/31(水)		
日数（日）			352	65	65	72	202	19	60	40	119	31
利用者数（人）			81,939	18,114	20,620	22,021	60,755	2,456	4,994	5,348	12,798	3,950
一日平均（人）			233	279	317	306	301	129	83	134	108	127
有 料	個 人	一般		2,393	4,619	3,466	10,478	0	0	0	0	0
		シルバー		85	252	125	462	0	0	0	0	0
		身障一般		55	107	72	234	0	0	0	0	0
	団 体	一般		153	341	224	718	0	0	0	0	0
		合 計		2,686	5,319	3,887	11,892	0	0	0	0	0

※この他に、出前美術館の観覧者 737 人、三館連携展(県立図書館にて)の観覧者 3,699 人が加わる。

組 織
組織図



職 員

館 長	長
副 館 長	長
主任専門員(兼)班	長
主 査	任
主 幹 (兼) 班	長
主 学 芸 主	事
技 能 主 任	員
研 修	

河 野 元 昭	
麻 生 正 秋	
富 樫 一 男	
田 原 隆 雄	
柴 田 優 直	
三 沼 田 仁 子	
沼 樫 尾 康 丈	
山 本 雅 信	
小 笠 原 村 地	
木 佐 々 木	
菊 佐	

事 務 補 助 職 員	
学 芸 補 助 職 員	
解 説	

佐 藤 陽 子	
藤 原 裕 美 子	
今 野 菜 穂 子	
石 川 橋 順 裕 子	
高 橋 聖 子	
鈴 木 幹 子	
瀬 田 川 未 歩	
佐 川 藤 扶 由 美	
川 佐 津 晴 香	
鈴 木 子 望	
藤 川	

美術館協議会委員

会 長	
副 会 長	
三 根 大 齊 佐 佐 福 村 森	
橋 田 楓 藤 々 木 藤 岡 上 田	
由 美 子 悟 秋 貴 子 行 作 人 彦 子	
美 子 千 眞 和 新 昌 克 慶	

通訳案内業
子どものアトリエ絵画教室主宰
NHK秋田放送局長
(株)秋田ふるさと村総務課長
公募・主婦
南かがやき教室指導員
横手市教育委員会生涯学習課長
(株)秋田魁新報社文化部長
自営業
自由美術協会会員

建築・設備概要

建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢 62-46
敷地面積／164,936.81 m²(秋田ふるさと村)
建築面積／2,947.32 m²
延床面積／11,166.50 m²
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
地下1階 地上7階 PH1階
設計／株式会社 山下設計東北支社
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／千代田電気工業(株)
昇降機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧 3φ 3W 6.6KV 50Hz
設備容量 1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah × 1台
監視設備／中央監視装置：機能分散型DDC方式による集中監視制御
照明設備／蛍光管主体
展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベスシステム1系統(32インチCRT1台)
防犯設備／防犯センサー・ITV装置
防災設備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機 2000RT × 2台 LPG
焚真空式温水ボイラー 80,000Kcal/H × 1台
空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型) × 4台
ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型) × 5台
ファインコイルユニット天井カセット型 × 105台
水冷式パッケージ型空調機 × 6台
空冷式ヒートポンプ型パッケージ × 3台
換気設備／第1種及び第3種換気方式
排煙設備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫蒸設備／常圧手動式ユニット型 20 m²

●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径 75 mm 重力給水方式
受水槽 24 m³ 高置水槽 6 m³
給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガス設備／ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給
主に空調用熱源のエネルギー源として利用

消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150 kg	105 m/分	2台
乗用エレベーター	1150 kg	90 m/分	1台
荷物用エレベーター	3000 kg	45 m/分	1台
小荷物用エレベーター	300 kg	30 m/分	1台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000 人/時	30 m/分	1分
-----------	----------	--------	----

主な設備

5階展示室(4室)	983.10 m ²	収蔵庫(5室)	852.9 m ²
(1)	260.28 m ²	会議室	69.4 m ²
(2)	293.76 m ²	実習室・準備室	135.0 m ²
(3)	237.13 m ²	図書資料室	160.5 m ²
(4)	191.93 m ²	調査研究室	45.5 m ²
6階展示室(3室)	786.90 m ²	ハイビジョンギャラリー	241.9 m ²
(1)	255.96 m ²	研修室	226.7 m ²
(2)	293.76 m ²	展望ラウンジ	128.9 m ²
(3)	237.13 m ²		

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総 則
（設置）

第1条
秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）
第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施 設	業 務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館
（近代美術館）

第4条
秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。
（職員）

第5条
近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。
（近代美術館協議会）

第6条
近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2 協議会は、委員10人以内で組織する。
3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）
第7条
近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場に当たっては、これを発行するときに徴収する。
（入場料等の減免）

第8条
知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。
（入場料等の不還付）

第9条
既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。
（規則への委任）

第10条
この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
附則
この条例は、平成21年4月1日から施行する。

別表第1
特別展示室の入場料（第7条関係）

区 分	金額（一人につき）
普通料金	800 円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 (20人以上の団体)	720 円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 (有効期間1年)	1,500 円を超えない範囲内で知事が定める額

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）
（趣旨）

第1条
この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条
条例第6条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。
第8章の2 近代美術館
（開館時間）

第 37 条の 2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

第 37 条の 3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1 月 1 日及び 1 月 2 日）
- 2 年末（12 月 29 日から 12 月 31 日まで）

（資料の館外貸出し等）

第 37 条の 4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

第 37 条の 5

第三条第三項及び第四項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第六条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第七条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第十二条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成五年秋田県条例第四十五号)第八条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

第 37 条の 6

この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

附則

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

館内図

7F 36 展望ラウンジ Sky Lounge

6F 35 スロープギャラリー Slope Gallery
 34 研修室 Auditorium
 33 授乳室 Baby Room
 32 展示室(3) Exhibition Gallery3
 31 展示室(2) Exhibition Gallery2
 30 展示室(1) Exhibition Gallery1

5F 29 ふれんどりーギャラリー Friendly Gallery
 28 ハイビジョンギャラリー Hi-Vision Gallery
 27 中央ホール Main Hall
 26 展示室(4) Exhibition Gallery4
 25 展示室(3) Exhibition Gallery3
 24 展示室(2) Exhibition Gallery2
 23 展示室(1) Exhibition Gallery1

4F 22 電気室 Electric Room
 21 調査・研究室 Study Room
 20 館長室 Director's Room
 19 応接室 Lounge
 18 図書・資料室 Library
 17 事務室 Museum Office

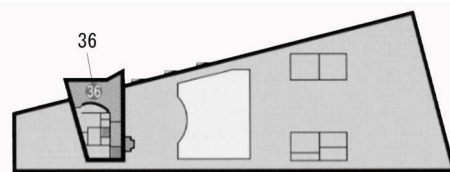
3F 16 収蔵庫(5) Storage Room5
 15 収蔵庫(4) Storage Room4
 14 収蔵庫(3) Storage Room3

2F 13 機械室 Machine Room
 12 収蔵庫(2) Storage Room2
 11 収蔵庫(1) Storage Room1
 10 暗室 Dark Room
 9 写真室 Photo Studio

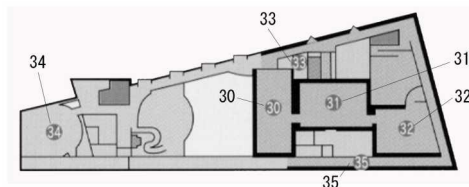
1F 8 会議室 Conference Room
 7 実習室 Atelier

B1F 6 薫蒸室 Fumigation Room
 5 荷解室 Packing Room
 4 一時保管庫 Temporary Storage Room
 3 管理室 Guard Room
 2 インフォメーション Information
 1 エントランスホール Entrance Hall

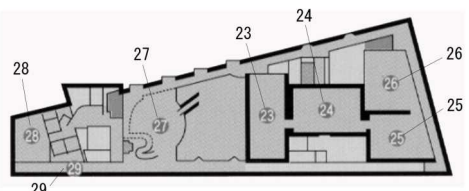
7F



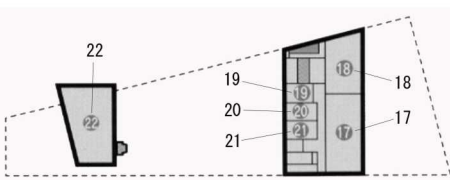
6F



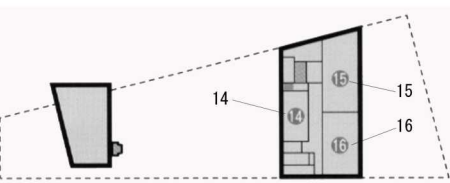
5F



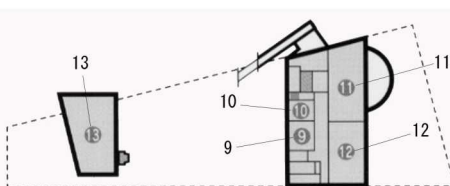
4F



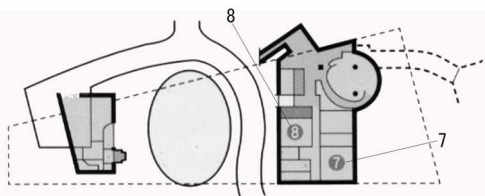
3F



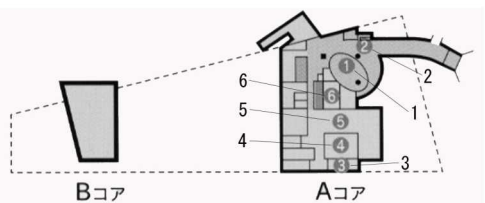
2F

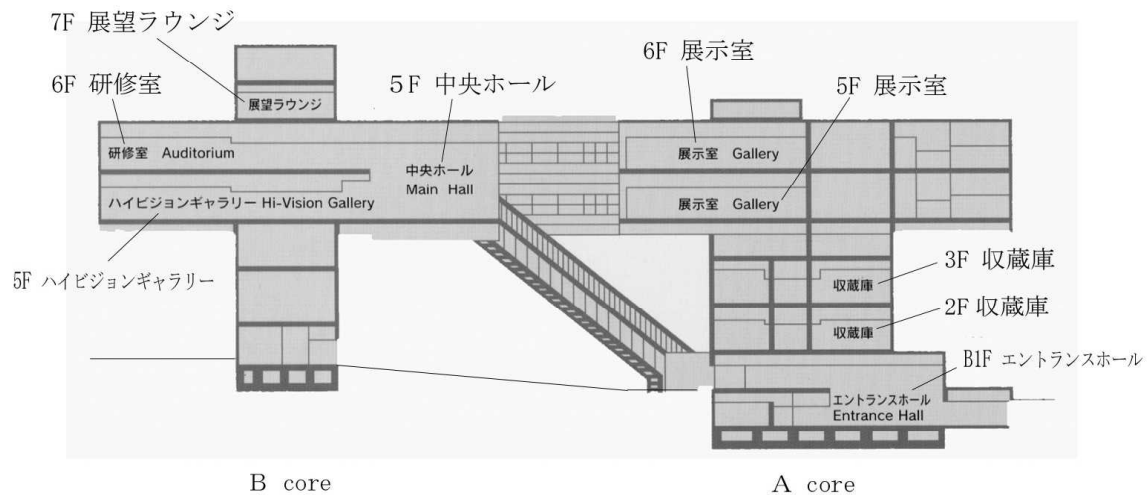


1F



B1F





- 1 エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分
(入館は午後 4 時 30 分まで)

◆無料公開日

- ・こどもの日 ・県の記念日
- ・敬老の日 ・文化の日

◆休館日

2009 年度：12 月 29 日～ 31 日、2010 年 1 月 12 日～ 21 日
2010 年度：12 月 29 日～ 31 日、2011 年 1 月 11 日～ 20 日
(年末及びメンテナンス休館)

◆料 金

	一般	学生	小・中学生
観 覧 料	無料	無料	無料
特別展開催時	800 円	無料	無料
※団体(20 名以上)は 1 割引			

教育課程に基づく学習活動として利用する児童生徒・学生の引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けてください。

General Information

◆Museum hours

9:30a.m.～ 5:00p.m.(No entrance after 4:30p.m.)

◆Admission Fee

Children's Day
Memorial Day of Akita
Respect for the Aged Day
Culture Day

◆Closed

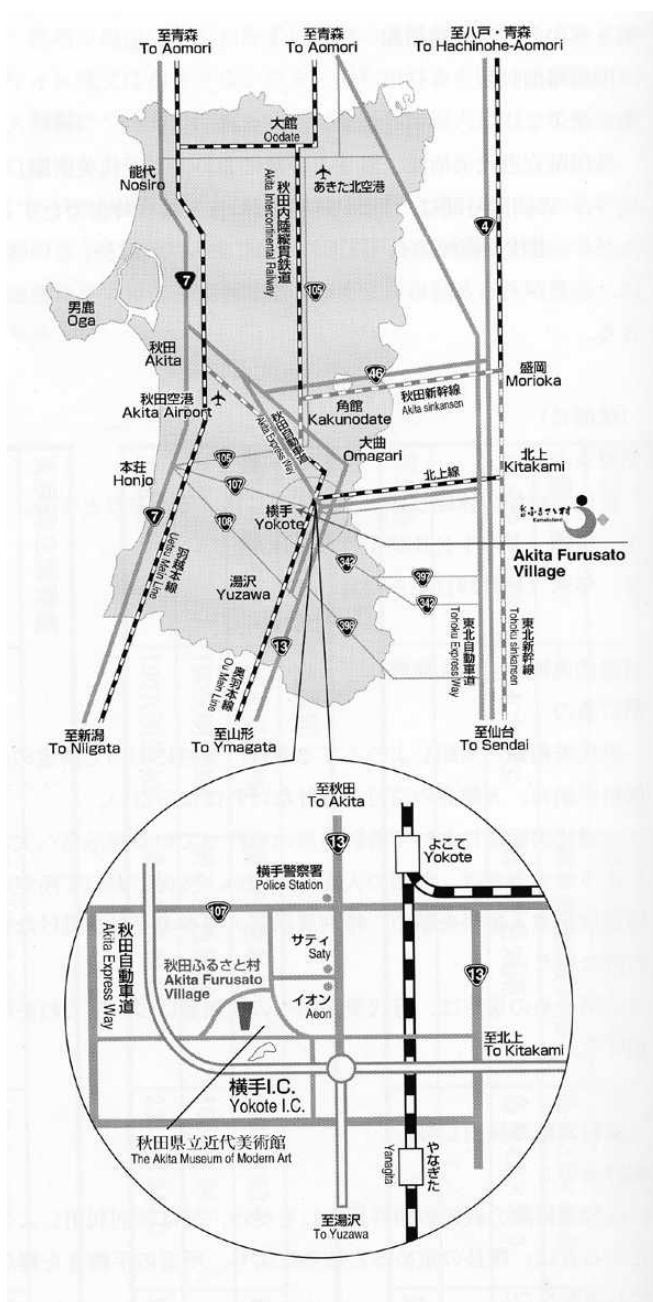
General Maintenance & Year-end Holidays
・ Dec.29-31,Jan.12-21/Fiscal 2009
・ Dec.29-31,Jan.11-20/Fiscal 2010

◆Admission Fee

	Adult	Student	Child
Permanent Exhibition	¥ 0	¥ 0	¥ 0
Special Exhibition	¥ 800	¥ 0	¥ 0

※ Parties of 20 or more persons are offered a discount of 10 % off the normal admission price.

交通案内 Transportation



1. バス利用の場合

JR 横手駅乗車 秋田ふるさと村下車

2. タクシー利用の場合

JR 横手駅から 15 分

1. Get off the train at JR Yokote station, then take the bus to "Akita-Furusato Village"
2. 15minutes by taxi from Yokote Station.

秋田県立近代美術館年報 2010 年 3 月製作

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒 013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46

TEL.0182-33-8855 FAX.0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail:akitamma @ mac.ne.jp